

2026年度

近畿大学通信教育部

- ・正科生(法学部、短期大学部)
1学年配当科目
- ・図書館司書コース
- ・学校図書館司書教諭コース

シラバス一覧

※シラバスは2025年12月現在の情報であり、今後、修正が出る可能性があります。

2026年4月以降、WEBシラバスに最新情報が掲載されますので、必ず4月以降にWEBシラバスを確認してください。

<https://syllabus.itp.kindai.ac.jp/customer/Form/sy01000.aspx>

シラバス検索画面は、
上記アドレスをクリック、または、右のQRコード
からご確認ください。



WEBシラバス

出願時の履修科目の選択にご活用ください。

目 次

法学部法律学科・短期大学部商経科 正科生共通

〈総合科目〉

科 目 名	科目コード	単位数	配当学年	ページ
文化交流論(歴史)	1101	4	1	5
日本文化論(文学)	1104	4	1	6
人間論(心理学)	1105	4	1	7
日本社会システム論(法学)	1301	4	1	8
国際社会システム論(社会学)	1302	4	1	9
国際社会システム論(政治学)	1303	4	1	10
日本社会システム論(経済学)	1304	4	1	11
情報リテラシー論(数学)	1401	4	1	12
生命現象論(生物学)	1402	4	1	13
科学方法論(化学)	1403	4	1	14
自然環境論(地理学)	1404	4	1	15
健康スポーツ科学	1601	1	1	16

〈外国語科目〉

科 目 名	科目コード	単位数	配当学年		ページ
			法学部	短期大学部	
ドイツ語基礎	1509	2	2	1	18
中国語基礎	1513	2	2	1	19
英語 読解	7701	2	1	1	20
英語 読解	7701	2	1	1	21

法学部法律学科

〈第1類選択必修科目〉

科 目 名	科目コード	単位数	配当学年	ページ
民法総則①	2002	2	1	23
憲 法	2004	4	1	24

短期大学部商経科

〈専門科目Ⅰ〉

科 目 名	科目コード	単位数	配当学年	ページ
マクロ経済学①	2101	2	1	26
商 学 総 論①	2103	2	1	27
経 営 学 総 論	2105	4	1	28
簿 記 論①	2109	2	1	29
商法(商事関係法)	2111	4	1	30
民 法①	3102	2	1	31
商 品 学①	3501	2	1	32

図書館司書科目

〈甲群〉

科 目 名	科目コード	ページ
生涯学習概論	5701	34
図書館概論	5702	35
図書館情報技術論	5703	36
図書館制度・経営論	5704	37
図書館サービス概論	5705	38
情報サービス論	5706	39
児童サービス論	5707	40
図書館情報資源概論	5709	41
情報資源組織論	5710	42

〈乙群〉

科 目 名	科目コード	ページ
図書・図書館史	5801	44
図書館実習	5802	45
図書館サービス特論	5803	46
図書館情報資源特論	5804	47

学校図書館司書教諭科目

科 目 名	科目コード	ページ
学校経営と学校図書館	5601	49
学校図書館メディアの構成	5602	51
学習指導と学校図書館	5603	52
読書と豊かな人間性	5604	53
情報メディアの活用	5605	54

総合科目

(法学部・短期大学部共通)

(法学部 短期大学部共通)
総合科目

(法学部・短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書
甲群

図書館司書
乙群

学校図書館司書教諭

科目コード	1101	科目名	文化交流論（歴史）
■ 授業概要・方法等			
試験・レポートとともに、テキスト・参考書の理解、独自の観点など総合的に評価する。自分の言葉で、論理的に叙述することが基本であり、テキスト・参考文献の丸写しは評価できない。独創的なものをうちだそうとする意欲の感じられる答案・レポートを歓迎したい。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
文化交流論（歴史）では、まず学問としての「歴史」がもつ特徴を整理し、人類の歴史を時系列にそって概説しながら、近代以降についてはフランスを中心としたヨーロッパ史がはらむ問題点を整理し考察する。歴史学が直面した方法的問題や代表的学説にも言及していく。最終的には東アジアの片隅に生きる現在の我々自身を相対化する視座を構築し、文化的な意味で個性ある社交的能力に長けた人間の実現を目指したい。 とりわけ現在の我々はまさに歴史的な意味で大きな変化の段階を経験していると言つていいだろう。「パンデミック」「ポピュリズム」、そしてさらに問題を広げれば「国家」とは、「民族」とは、「民主主義」とは、そして「戦争」等々。このような本質的問題に向き合う格好のチャンスを生きているともいえる。この講座でもこうした問題を意識しよう。それでもう一つ、この講座の表題には文化「交流」と書かれている。ここでは幅広く、異文化同士の「接触」、「対立」、「越境」、「浸透」といったことも意識して積極的に取り上げていきたい。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマシー4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『文化交流論（歴史）』			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
レポート同様、テキストをしっかり読み込んでおくこと。さらに参考文献も含め他の書物にあたり、あらかじめ自分なりの答案を作成してみるといいだろう。終末試験当日はそれをしっかりと覚えて試験にのぞむことである。 テキストの「ワンポイント・レッスン」を勉強のきっかけにしてもらいたい。 テキストは、西欧の通史の部分はかなり要約したものになっているが、辞典・用語集などを利用して積極的に知識の確認を日常的に続けていただきたい。また、テキストの各章末に参考文献をあげておいたが、これもごく限られたものにすぎない。レポートの作成、終末試験の準備にあたっては、それ以外の文献もどんどん利用し、さらに映画・音楽・絵画・文学など様々なジャンルで歴史経験を積み、それが感じられる答案・レポートを高く評価したい。			

科目コード	1104	科目名	日本文化論（文学）
授業概要・方法等			
我々の祖先が築いてきた日本文化のひとつに「文学」があります。日本という国の文化的背景から国文学がどのように発生し、時代の流れと共に国文学がどのように推移してきたのか、それぞれの時代を反映した言葉で綴られた国文学を概観します。			
グローバル社会を迎えた現代だからこそ、改めて自国の文化のひとつである国文学への理解を深めていただきたいと願っています。日本文学の特質を知ることにより、日本という国の奥深さを世界に広めることができるでしょう。常にグローバルの視点を忘れずに、自国の文学を読み解いていきましょう。			
学習・教育目標及び到達目標			
日本文化のひとつである「文学」の流れを知り、それぞれの時代を反映した「国文学の特色」が整理できることを学習・教育の目標としています。また、古代・中古・中世・近世・近代・現代へと繋がる「国文学の流れ」が理解できることを到達目標としています。			
読書することにより、深い知識が身につきます。興味のある書物を多読してください。多読することにより、語彙数も増え、表現も豊かになります。テキストに書かれていることを丸暗記するのではなく、内容を理解した上で独自の表現（自分の言葉）でまとめることが大切です。テキストを熟読した上で、出題されたレポート設問に対する解答を自らの文章で作成してください。			
通信教育部のディプロマポリシー4. で示されているように、「人間性の豊かさを保有した教養人」になることを身につける科目です。また、ディプロマポリシー1. のビジネス社会で必要となる文章作成能力が向上することも関連しています。			
成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
教科書			
『日本文化論（文学）』（平田祐子 編著、前川武・早川久美子・鎌倉祥太郎 共著、近畿大学通信教育部：2019）			
参考文献			
[ISBN] 9784883672219 『日本語表現法（「書く・話す・伝える」ための技法）』（西尾宣明 編著、樹村房）			
関連科目			
国語表現法			
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
まず、テキストを熟読してください。次に、他の書物（参考文献）に目を通します。参考文献は、ひとつのレポートに対して2冊以上読んでください。（作成の際には、レポートの最後に書名、著者、発行年、発行所を明記しましょう。）			
レポートは、自分の言葉でまとめましょう。テキストや参考文献をそのまま書き写すものではありません。テキストや参考文献から引用する際には、必ず引用記号（「」）を用いて明記してください。			
1. 日本文学の発生と特色 2. 古代の文学 3. 中古の文学 4. 中世の文学 5. 近世の文学 6. 近代の文学 7. 現代の文学			

科目コード	1105	科目名	人間論（心理学）
■ 授業概要・方法等			
心理学の知識は私たち自身を振り返る視点を提供してくれる。まずは様々な心理学の理論を正しく理解したい。そうすればその理論を通して私たちは自分の行動や思考を理解することができ、それらをコントロールし、よりよく生きていくことができると考えている。ただ課題をこなすだけでなく、自分の身に寄せて理解することで、より使える知識として身につけてほしい。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
心理学の様々な知識を正しく理解することをまずは学習目標とする。これまで心理学は様々な研究や実験をおこない、人間の心や行動を説明する理論を構築してきた。それらの理論は、相互に矛盾するものもあるが、それぞれ心理学者の考え方や実験、実践をもとにして客観的に示されたものであり、私たちの心や行動を理解するために役立つものである。 この人間論（心理学）では、これらの心理学の理論についてまずは正しく理解し、続いてそれらの理論を通して自分の心や行動を理解し、よりよく生きていくために使える知識とすることを目指している。 テキストのみならず、引用文献や参考文献、さらにはインターネットなども利用して、それぞれの理論の内容についてしっかりと消化して理解し、表現することを求めたい。 なお、chatGPTなど、AIによる文章作成記述が向上しているが、それらを利用して記述をすることは本授業の目標に合致しないこと、AIによる記述は著作権侵害の可能性があることなどの問題がある。内容の理解のために参照することは認めるが、記述は自らの文章と参考文献の引用によって行うこと。そのため、参考文献、引用文献の明示（インターネットの文章を参照した場合はそのURLアドレスの明示）が必須である。またAIを参考として使用した場合は、必ずその旨を示すこと。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト「人間論（心理学）」			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784121026804『モチベーションの心理学-「やる気」と「意欲」のメカニズム（中公新書2680）』（鹿毛雅治、中央公論新社：2022）			
[ISBN] 9784762830723『新・動機づけ研究の最前線』（上淵寿、北大路書房：2019）			
[ISBN] 9784788506794『人を伸ばす力—内発と自律のすすめ』（エドワード・L.デシ、新曜社：1999）			
[ISBN] 9784760823796『学習意欲の理論：動機づけの教育心理学』（鹿毛雅治、金子書房：2013）			
[ISBN] 9784788515499『アイデンティティー青年と危機』（エリク・H・エリクソン、新曜社：2017）			
[ISBN] 9784061490208『アイデンティティの心理学（講談社現代新書1020）』（鎧幹八郎、講談社：1990）			
[ISBN] 9784623052509『よくわかる心理学（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ）』（無藤隆、ミネルヴァ書房：2009）			
[ISBN] 9784623053797『よくわかる発達心理学〔第2版〕（やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ）』（無藤隆、ミネルヴァ書房：2009）			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
自分がどう考えるかという感想のような自分の意見を述べるのではなく、まずはきちんと理論や説を理解し、様々な現象を説明することが大切である。テキストを熟読し、十分に理解できない内容については、引用文献やインターネットなどを利用して正しく理解すること。どうしても自分の考えを述べたい場合は、正しい理論の説明を行った後に、その理論について自分の意見を述べること。 テキストだけで十分理解できない内容については、ぜひ他の資料、引用文献や参考文献、インターネットや他の心理学テキストで補完をして確実に理解してほしい。レポートにせよ、科目終末試験にせよ、教科書や文献の丸写しでなく、しっかりと自分で理解して回答してこそ、本当の使える知識になるとを考えている。			

科目コード	1301	科目名	日本社会システム論（法学）
■ 授業概要・方法等			
人間が社会生活を営む上でのルール、その一つである法について、法とは何か、法にはどのような種類があるか、法を解釈するとはどういうことか等を、考察する学問です。			
また、法律的な考え方、すなわち、日常生活で起こりうる問題を、権利・義務の関係で、捉える力を養う学問でもあります。			
さらに、法律は、条文が大事です。面倒くさがらずに、六法で、条文を見るということを習慣づけるようにしてください。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
この科目的学習では、社会規範全般について検討したうえで、私たちの身近な生活の中で生じる問題を取り上げて、それらについて考えることを通じて、法的思考力の基礎の習得を目指します。			
この科目の修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー2の達成に関与しています。			
この科目の修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
『法の世界へ（有斐閣アルマ）』（池田真朗、有斐閣）			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784335001604 『プレステップ法学第6版（プレステップシリーズ02）』（池田真朗、弘文堂：2025）			
[ISBN] 9784589039620 『18歳から考える家族と法（（18歳から）シリーズ）』（二宮周平、法律文化社：2018）			
[ISBN] 9784641000315 『法律学小辞典（第6版）（単行本）』（高橋 和之、有斐閣：2025）			
■ 関連科目			
私法入門Ⅰ（財産法）をはじめとする民事法関連科目			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
試験については、「説明しなさい」という設問に対して、使用テキスト『法の世界へ』の内容を参考に明確に記述してください。使用テキストはもちろん、参考文献や法律用語辞典等も参照しながら学習してください。論作文レポートの書き方は、『学習の友』の中にある「レポートの書き方」「表現上の諸注意」に必ず目を通して、その内容を基準してください。			

科目コード	1302	科目名	国際社会システム論（社会学）
■ 授業概要・方法等			
現代では、国民国家のボーダーを越境して、ヒト・モノ・カネ、情報が移動する「グローバリズム」がキーワードになりつつある。政治、経済、文化のグローバル化はますます進み、既存の価値体系が新たな枠組みに置き換えられようとしている。例えば経済の分野では、市場経済が世界的規模で拡大し、地域に固有な伝統的システムを改変しつつある。			
今や世界中のどのような地域においても、モノやサービスの交換や流通は、市場や貨幣を媒介してなされている。あるいは文化に関しては、特定の地域や国の名称を冠した「文化本質論」的な観点からではなく、人や情報の移動に伴ってハイブリッド化された「文化の混淆」の観点から分析されることが必要になっている。また、日本国内に目を転じれば、グローバリズムと経済発展により、少子高齢化や核家族化、過疎や過密、SNSによるいじめやサブカルチャーといった、従来とは異なる新たな論点が重要性を増してきている。			
この科目を通して、現代の国際社会および日本社会を構成している諸要素の成り立ちと、それらの背景、および問題点について、理解をさらに深めるとともに、批判的な視点をもてるようになってもらいたい。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
本科目の到達目標は以下のとおりである。			
①現代社会の問題を理解し、多角的な視野で理解することができるようになる。			
②経済発展は豊かな生活の実現に寄与するだけでなく、人びとの価値観を変革し、社会システムを変容させることを知る。			
③グローバリゼーションの中で生起する「差異」が多層化を生み出す過程についての知識を得られるようとする。			
この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー2の達成に関与しています。			
この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー1, 2, 3, 4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。なお、レポートや試験など、各問題の文字数を必ず守ってください（1文字でも不足の場合は不可とします）。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト 「国際社会システム論（社会学）－「差別化される差異」から診る社会」			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
1. 教科書をよく読むこと。また必要文献を適宜探して自学すること。 2. キーワードを中心に意味を調べ、自身のノートにまとめること。 3. レポートや試験では、「客観的事実」と「自分の意見」とを分けること。 4. 段落を分けて書くこと。字数の条件を守ること（条件を満たさぬものは不可）。 5. また「丸写し」答案およびそれに準じるものは、レポートは何度でも再提出、試験は不合格とする。			
普段からグローバル化や国内問題についてのニュースや新聞記事に触れ、現代社会の理解に役立てること。			

科目コード	1303	科目名	国際社会システム論（政治学）
<p>■ 授業概要・方法等</p> <p>この科目は政治学における概念と理論を、その歴史的な発展と関連づけて学習し、現代の政治制度および政治過程についての知識を修得することを内容とする。テキストの学習を通じて現実の政治現象の枠組みをとらえることを目標としたい。</p>			
<p>■ 学習・教育目標及び到達目標</p> <p>毎日起きている様々な政治の世界の出来事は、一見ばらばらでつながりがないように見えるとしても、①誰が、②何のために、③どのような場所で、④どのようなルールに従って活動しているのかを考えることができます。そうすることで、より立体的、体系的に理解することができる。政治学で学ぶのはそのような見方を身につけるための知識である。</p> <p>この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー2の達成に関与しています。</p> <p>この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー1, 2, 3, 4の達成に関与しています。</p>			
<p>■ 成績評価方法及び基準</p> <p>レポートと科目終末試験の合格 100%</p>			
<p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法</p> <p>レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。</p>			
<p>■ 教科書</p> <p>通信授業科目用テキスト「国際社会システム論（政治学）」</p>			
<p>■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間</p> <p>テキストを学習する際、重要事項については、その予備的な記述、本体部分、細かい説明、というように分かれて記述されています。自分が読んでいるのがどの部分に当たるのかを意識して読んでください。それから試験やレポートの際、テキストとは関係なく、自分が政治について思うことを書いてくる人がいます。政治について意見を持つことは必要ですが、一方で政治・スポーツ・教育というのは素人でも好き勝手に評価できる分野だともいわれています。100%自分の意見だけでは学習しているかどうかの判断ができないので、テキストの内容にもとづいて記述するようにしてください。</p>			

科目コード	1304	科目名	日本社会システム論（経済学）
■ 授業概要・方法等			
経済学は、国の舵取りなどに必要不可欠な重要な学問ですが、そのような大きな問題だけでなく、人間の意思決定や行動に絡む様々な現象（喫煙や肥満、恋愛も対象になります）を解き明かし、純粋に知的好奇心を満足させてくれる非常に面白い科学でもあります。ただ、経済学の「考え方」には相当に「癖」がありますので、それなりに勉強が必要になります。この科目では、経済学特有の「考え方」を中心に学びます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
経済学特有の「考え方」を身につけて、世の中の様々な現象を読み解くことができるようになることを目標とします。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー2の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト「日本社会システム論（経済学）」			
■ 参考文献			
上記テキストに、文献案内が掲載されています。			
■ 関連科目			
ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
指定された教科書をまずは読み（最初は小説を読むつもりで楽しみながらさらりと、2回目以降は教科書の内容を鵜呑みにせずに、時に引っかかりながら）、次に教科書の中で出題される演習問題を解いてみてください。演習問題を解けなかった箇所を中心に、再度教科書を読んで思考の弱点を克服してください。 また、演習問題を解いた後で、今度は自分で問題を作って（題材は私たちの身の回りにあふれています）解いてみる（自問自答する）ことをお勧めします。おそらく、より一層学習効果が高まるでしょう。 世の中の様々な事柄に興味を持つようにしてください。そのために、新聞を出来るだけ読むことを推奨しますが、経済記事以外の記事にも目を通してください（芸能欄も含めて経済学のネタはあちらこちらに転がっています）。 また、教科書で書かれていることがしっかりと理解できるまで復習をしてください。教科書だけでは理解できないところは、関連文献などで調べて理解するようにしてください。教科書を理解できるまで読み込むと、相手にとって分かり易い文章作成や会話の能力が格段に上昇します。時間がかかりますが、是非頑張って教科書の復習をしましょう。			
■ ホームページ			
三田村けんいちのオフィシャルサイト http://www.eonet.ne.jp/~aisaika/			

科目コード	1401	科目名	情報リテラシー論（数学）
■ 授業概要・方法等			
情報リテラシーとしてコンピュータサイエンスを学ぶにあたって、線形代数学および微分積分学の知識は基礎的かつ不可欠なものである。これらの数学的素養は、単に抽象的な理論として重要なだけでなく、問題を数学的にモデル化、解析、解決できるようになり、実践的なプログラミングやシステム開発、アルゴリズム設計における応用力が格段に高まることにつながる。以上より、コンピュータサイエンス学習者にとって、線形代数学と微分積分学は、学問的な土台として不可欠なものである。			
そこで本科目では、情報リテラシーとしてコンピュータサイエンスの素養を身につけるため、線形代数学と微分積分学の基礎を学習する。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
「線形代数学」の基礎として、1. ベクトルと行列の定義を理解する、2. 行列式を様々な計算に活用できる、3. 行列を使って連立方程式を解ける、4. ベクトル空間について理解する、5. 線形写像について理解する、6. 行列の固有値と固有ベクトルの求めてさまざまな行列計算に活用することを目標にする。			
また、「微分積分学」の基礎として、1. 関数と極限について理解する、2. 簡単な関数の微分ができる、3. 微分を応用して様々な計算や関数について調べられる、4. 簡単な関数に対する不定積分を求められる、5. 定積分の定義を理解して簡単な関数に対する定積分を求められる、6. 定積分を応用して面積や体積を求められることを目標とする。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト 「情報リテラシー論（数学）」			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784320016835 『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分一』 (石村園子, 共立出版 : 2001)			
[ISBN] 9784764905856 『基礎からスッキリわかる微分積分』 (皆本晃弥, 近代科学社 : 2019)			
[ISBN] 9784764905863 『基礎からスッキリわかる線形代数』 (皆本晃弥, 近代科学社 : 2019)			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
教科書に従って、線形代数学のベクトル、行列、行列式、連立1次方程式、ベクトル空間、線形写像、固有値、および微分積分学の関数と極限、微分、微分の応用、不定積分、定積分、定積分の応用について学習する。			
まず定義、定理、例に1通り目を通し、例題は自分で解いてみる。その後、練習問題を自力で解いてみる。練習問題の解法がわからない場合は、巻末にある解答を参考にする。応用的な学習をするために、参考書にも目を通す。			

科目コード	1402	科目名	生命現象論（生物学）
授業概要・方法等			
生物学で学ぶ内容は、私たちもヒトという生物である以上、生きていく上で知っておかなければならないことです。また、地球上に生息する多種多様な生物の生命現象を理解することは、きっとあなたの生活で役に立つことだと考えています。一つ一つの生命現象を理解し、それがあなたの周囲の環境や日常の生活とどう関わっているかを考え、知識として身につけてください。学習の過程で生命の本質を自分なりに探究することで、生命の尊さを理解し、それを感じ取れるようになることも目標の一つです。			
学習・教育目標及び到達目標			
① 生命の基本的な性質を理解し、形や性質が異なる多種多様な生物の生命現象の共通点を説明できる。 ② 生物学の基礎的な知識を身に着けることで、応用的な分野（医学など）の理解を深め、新型コロナウイルスやワクチンなどのニュースを正しく評価できるリテラシーが身に付く。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。			
成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
教科書			
通信授業科目用テキスト「生命現象論（生物学）」			
参考文献			
[ISBN] 9784410281686『改訂版視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』(数研出版編集部編数研出版) [ISBN] 9784274207440『ベーシックマスター細胞生物学』(尾張部克志, 神谷律 著, オーム社) [ISBN] 9784254171624『分子細胞生物学（第2版）』(多賀谷光男 著, 朝倉書店) [ISBN] 9784621302767『キャンベル生物学 原書11版』(池内昌彦, 伊藤元己, 箕本春樹, 道上達男訳, 丸善出版) ※高価なので図書館での利用を勧めます。			
関連科目			
生物学			
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
生命現象論はテキスト授業科目ですので、一般的な対面やメディア講義では「時間外学修」とされる部分のみで学修を進めてもらう必要があります。テキストを熟読し、図も含め、各項目の内容を理解することを目指してください。テキストの各章末の研究課題について考えることも理解の助けとなります。研究課題について、満足な解答ができない時は、テキストを見返すだけではなく、必ず参考文献やインターネット等を利用して正しく理解するように努めてください。内容によっては、まず箇条書きにして学修した知識や自分の考えをまとめ、それから文章を起こしていくのもよいでしょう。また、近年の生物学は分子生物学が主流となっていますが、分子生物学についてはテキストのみの学習では不十分な面があります。生物の根幹をなす「セントラルドグマ」についてなど、参考文献等を活用し、十分な学習を目指してください。 なお、レポートは調べた内容を応用して論理的に考える経験を積んでもらうことを目的として出題しています。学修したことに基づいて自分自身の考え方を持ち、それを筋道立てて説明できることが大切です。			

科目コード	1403	科目名	科学方法論（化学）
■ 授業概要・方法等			
化学とは、我々の身の回りに存在する物質のみならず、宇宙を構成する全ての物質の構造、性質、および物質の反応を対象とする学問である。化学に関する理解は、単に物質を科学的に理解するだけでなく、地球環境や生命などを正確に理解する上でも必要な知識である。この科目では教科書「教養としての化学入門 第2版」を用いて、化学の基礎と化学が解決できる諸問題について学びます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
宇宙、そして地球上に存在するすべての物質は元素によって構成されている。元素は様々な結合形態により物質を作り出す。化学とは物質の構造、性質そして変化を取り扱う学問である。			
この科目では物質を構成する元素（原子）の構造と周期性、物質を形成する際のルール（化学結合）、物質の取りうる状態、化学反応など基本を理解した上で、物質の合成方法、エネルギー問題、環境問題、生体構成物質の役割を理解する。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
[ISBN] 9784759820782 『教養としての化学入門 第2版』（キンバリー・ウォルドロン 著、化学同人）			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784785330675 『標準基礎化学』（梅本喜三郎 著、裳華房：2002）			
[ISBN] 9784320043770 『大学生のための例題で学ぶ化学入門』（大野公一、村田滋、錦織紳一 著、共立出版：2005）			
[ISBN] 9784407319880 『Primary 大学テキスト これだけはおさえたい化学』（井口洋夫、木下實、斎藤幸一 他著、実教出版：2010）			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
テキストだけで理解できない内容については、参考文献やインターネットにより補完して学習目標を完全に理解してください。			

科目コード	1404	科目名	自然環境論（地理学）
授業概要・方法等			
古代ギリシアで「土地を記述する学」として発達した地理学であったが、21世紀固有の地理学が求められている。その理由は①私たちが住む地球を取り巻く環境を学習し、災害の予知や防災、地球規模の環境問題を解決する学問である。②地球上に住む様々な人びとの生活様式を理解し、「異文化」へのやさしいまなざしを学ぶ学問であり、世界中のひとと仲良くなれる。③地理学を学ぶことにより多くの知識を得て、私たちの人生はより楽しく豊かなものとなる。①は「役に立つ地理学」、②は「平和の地理学」、③は「知の地理学」といえよう。考古学が遺物を、歴史学が史料や文書を大切にするように、地理学では地図が重要である。また、地理学は「生きた学問」であり、分析に必要なデータ類は変化するので、常日頃から新聞、テレビなどの報道、インターネット情報などには注意し、手元に世界地図帳や世界統計などがあることが望ましい。			
学習・教育目標及び到達目標			
1. 地理学の二大分野である自然地理学的事象と人文地理学的事象の基礎事項を理解すること。 2. 日本各地、世界各地の地誌についての理解を深めること。 3. 統計資料と各種地図の内容を把握し、自ら主題図が作成できるようになること。			
この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。			
成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
教科書			
通信授業科目用テキスト『自然環境論（地理学）』			
参考文献			
テキストの最後に列記			
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
レポートも試験もエッセイではなく、科学的根拠に基づいた科学性をもつものでなければならない。そのためには多くの文献を読み、分析力や思考力を身につける必要がある。教科書からは基礎的な事項を学び、そこから多様な文献や情報へむすびつけ、多面的・多角的な学修を展開させる必要がある。とくに、レポート作成ではこのような視点に立ったものでなければならない。学修の方法としては、まず選択する設題内容を理解し、そのなかで主要な項目（テーマ）について学ぶことが重要で、この学修は設題で求められる範囲を超えたものでなければ、学修効果は小さい。例えば、「10」の内容を事前に学んだとすれば、レポート作成に直接使われるはせいぜい「2～3」程度とみるのがよいと思われる。つまり、レポートに直接反映されないことがらを理解することで、レポートで使用する内容が充実してくる。このプロセスがたいへん重要である。また、レポート作成段階には教科書や各種文献から文章群や内容そのものを引用したり、レポートの一部として、それらの内容が盛り込まれる場合をよくみかける。しかし、それらの著者は設題内容を説明するために記述しているわけではなく、別の目的をもっていることが多い。こういった点を認識したうえで、目的をはっきりともって作文したい。なおインターネット情報は活用すべきであるが、誤った情報も多いので利用にあたっては十分に精査する必要がある。			
(1) 参考文献などからの文章を引用、または引用に近い文章構成などとする場合、参考文献の著者は設題に答えることを「目的」に文章を作成していないため、自分のレポートの目的に応じて作文しなおさねばならない。そのため、原文そのものの引用は、避けるほうが好ましい。			
(2) 添付する図表は「何でも適当なもの」を用意すればよいわけではありません。当然、本文の解説や分析で必要なものを厳選すべきである（複数になっても可）。ここでも既成の図表を引用してもよいが、自分の説明したい図表がみつからないときは、既成の図表に加筆修正を行ったり、オリジナルな図表を作成するなど、工夫が必要となる。			
(3) レポート構成の様式、あるいは図表や参考文献の様式は教科書や地理学の文献を参照し、学修するようにしてください（必ずしも、完全な統一様式はありませんが、いくつかの基本形にしたがって作成してください）。			
(4) 通信教育の宿命であるが、設題のキーワードや主要なテーマなどについて、教科書のほか、高校の検定教科書、各種の地理学の文献を活用し、独学でそれらを理解する必要がある。そのうえで、収集した情報をもとに作文（解答）してゆく方法が効果的である。このことが上記（1）を実践する場合に、大きなカギとなってくる。			

科目コード	1601	科目名	健康スポーツ科学（通信）
■ 授業概要・方法等			
<p>生涯にわたり健康で豊かな生活を送るために必要な知識を学ぶ健康スポーツ科学は、現代社会の中で活動しながら大学課程を修めている通信教育部の学生諸君にとって、年齢、専門に関わりなく、必須の教養であると考えます。</p> <p>健康スポーツ科学理論は、生活における健康と運動の意義、運動とからだや心の健康の関係、健康な生活を送るための運動を科学的に理解し、生活に応用する能力をテキストや参考書によって学習します。</p> <p>広大な学問領域ですから、領域をしづり出題します。</p>			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
<p>学習の目標を達成するためには、学生が自己の身体運動を理論的に解明し、それぞれが身体的・精神的・社会的健康の意義を踏まえて学習してください。</p> <p>この科目的修得は、通信教育法學部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。</p> <p>この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。</p>			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に必要があれば講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『健康スポーツ科学』 大島寛			
■ 参考文献			
<p>『健康 厚生労働省』 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/index.html</p>			
■ 関連科目			
健康スポーツ科学（実技）			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
テキストを熟読し参考書などを利用し、すべての問題について自分の言葉でまとめること。その際、出題で問われている事柄や、ポイントを的確に押さえ学習すること。			

(法学部・短期大学部共通)
総合科目

(法学部・短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書
甲群

図書館司書
乙群

学校図書館司書教諭

外国語科目

(法学部・短期大学部共通)

科目コード	1509	科目名	ドイツ語基礎
■ 授業概要・方法等			
日常のさまざまな場面で使われる会話体のテキストに従って、文法事項の説明、語彙や表現の説明、口頭練習などを段階的、反復的に行ない、ドイツ語の基本的な仕組みを学びます。またテキストの内容に関連して、ドイツ語圏の事情についても紹介します。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
ドイツはヨーロッパの中央に位置し、オーストリアやスイスの一部と共にドイツ語圏を形成し、周辺の国々や地域も含めて、約1億人の人たちがドイツ語を話し、EU（欧州連合）の中でドイツ語は最も多く使用されている重要な言語となっています。堅くて難しいというイメージが先行するドイツ語ですが、そのルーツは英語とかなり近い関係にあり、また語順などはむしろ日本語に似ているところもあり、私たち日本人には学びやすい言語だといえます。 このテキストで表現されているドイツ語は、日常的に使われているものばかりです。いつかドイツ語圏へ旅行することがあれば、買い物やレストランでの食事の時にここで学ぶドイツ語を片言でも使えたら、いっそう楽しい体験ができるでしょう。 ドイツ語を学ぶことを通して生活習慣や文化に触れて、さらに自分の世界を広げていきましょう。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身につけます。この科目的修得は、本学の定めるディプロマ・ポリシー4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『ドイツ語基礎』			
■ 参考文献			
(辞書) [ISBN] 9784261073065 『新キャンパス独和辞典』(在間進, 郁文堂: 2011) [ISBN] 9784810200065 『アポロン独和辞典〔第3版〕』(根本道也, 同学社: 2010) [ISBN] 9784384012347 『アクセス独和辞典〔第3版〕』(在間進, 三修社: 2010) (参考書) [ISBN] 9784810200058 『やさしい! ドイツ語の学習辞典』(根本道也, 同学社: 2005) [ISBN] 9784384053708 『ドイツ語のスタートライン』(在間進, 三修社: 2006) [ISBN] 9784384044201 『ドイツ文法の要点』(本郷建治, 三修社: 2011) [ISBN] 9784560086568 『ドイツ語のしくみ〔新版〕』(清野智昭, 白水社: 2014)			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
ドイツ語のポイントは動詞の変化と位置、そして名詞、代名詞の格変化です。特にこの二点に着目してドイツ語を学んでいくと、ドイツ語の仕組みがよく分かります。レポート及び科目終末試験でもここに重点を置いています。 初めて学ぶ言語なので、毎日コツコツと勉強を続けることが大切です。分からぬ単語は前もって調べ、辞書を引く習慣をつけましょう。			
■ ホームページ			
白猫ドイツ語講座 https://www.youtube.com/@shironeko-deutsch			

科目コード	1513	科目名	中国語基礎
授業概要・方法等			
中国語は世界において使用人口の最も多い言葉であり、日本人にとっても親しみやすい言葉だと思います。中国は日本の26倍の広さを持って、また14億の人口があり、56の民族を有する多民族国家です。もちろん、言葉の種類也非常に多いです。約7つの方言—北方語、吳語（江蘇、浙江）、湘語（湖南）、贛語（江西）、客家語（広東、広西から福建の一部にまたがる）、閩語（福建）、粵語（広東）があります。これらの方言は外国語のようにまったく通じないほど違います。しかし、この7つの方言の中では、全人口の70%の人が北方語を使っていると言われています。この北方語の語彙を基礎とし、北京語の発音を標準音として、また文法は現代口語文で書かれた代表的著作を標準と定めたのが全国共通の「普通話」です。つまり、北京の発音で北方の言葉を話すということです。この「普通話」が言わば標準語にあたります。			
中国語も日本語も漢字を用いて表記されるので、日本人にとって、中国語は他の外国語よりわかりやすいと考えられます。日本人の漢字に対する知識は中国語を学ぶうえで大きな手助けとなることは事実ですが、一方、それが落とし穴になることもあります。つまり、日本語と同じ漢字でも意味が違うものもありますので、中国の歴史、社会、風俗、習慣、衣食住などよく理解し、中国と日本の違いを把握することが中国語学習の基本です。中国語の特徴は大きく分けると、3つあります。			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 一つの音節の中に必ず母音があります。また、母音が単独で使うことができます。 2. 一つの音節は、一つの漢字で表します。どの音節にも声調符号がついていて、声調が違うと意味も異なります。 3. 文法は語順と虚詞（実際上の意味を持たずに、文を構成するために用いられる品詞のこと）とを主要な手段としているため、語の順序を変えると意味が異なります。 			
中国の文字については、かつて中国では「繁体字」（画数の多い複雑な字体）を使用（台湾・香港はいまも）していましたが、現在では「簡体字」（簡略化した字体）を正式に使用しています。「簡体字」は一部の日本語の略字と同じですが、大いに異なっていますので注意を要します。			
中国語は面倒な活用を覚えることはありませんので、入門しやすい言葉です。ただ漢字になれているため、音声を軽視しがちになるので、この点に注意しなければなりません。また、中国語は声調が語の意味を決める重要な働きをしていますので、大切なポイントとなります。			
学習・教育目標及び到達目標			
中国語の学習には、文法の理解は比較的に難しくありませんが、初心者にとって発音と声調という高低のアクセント（四声）の理解は決して容易ではありません。したがってテキストを通して、現代中国語および現代中国の事情を理解して、「聞く」「話す」「読む」「書く」のため、正確な発音、基本的な語彙・文法などを身につけることを目標とします。			
この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。			
この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。			
この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマ・ポリシー1, 2の達成に、短期大学通信教育部商経科の定めるディプロマ・ポリシー1, 4の達成に関与しています。			
成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
教科書			
通信授業科目用テキスト『中国語基礎』			
参考文献			
[ISBN] 9784810203271 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書〈新訂版〉』 (相原茂, 同学社)			
[ISBN] 9784385121680 『デイリーコンサイス中日・日中辞典 第3版』 (杉本達夫, 三省堂)			
関連科目			
中国語読解			
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
外国語を学習する上での一番基本となる参考書は、何といっても辞書に他なりません。最初から語彙の多い大型辞書を買うよりも、分かりやすい日中・中日辞書から勉強を始めるのがいいでしょう。			
また、試験やレポートについてはあくまでも自分なりに整理や作成し、他人が書いたものをそのまま写さないよう注意してください。			
テキストや参考書などを何度も熟読し、すべての問題について自分で整理して、わからない語彙や文法など辞典で調べておけば、それほど解けない問題ではありません。ただし、基礎文法や慣用表現などをよく理解してから解答をしてください。			

科目コード	7701	科目名	英語読解（2024年6月末までに教科書を入手した方対象）
■ 授業概要・方法等			
※このシラバスは2024年6月末までに教科書を入手した方向けです。 (教科書奥付にある発行日が「令和6年10月1日発行」以前の教科書をお持ちの方) 発行日が「令和6年10月1日発行」以降の教科書をお持ちの方は 別シラバス「英語読解_2024年7月以降に教科書を入手した方用」をご確認ください。			
テキストは、Part I 中学レベル、Part II 高校レベル、Part III 大学・一般レベルの英語と、三つのレベルに分けてあります。目標は、実用的に英語が読めるということですので、大学・一般レベルに新聞・雑誌・小説・評論の英文を集めています。このレベルの英文が読めるようになればいいということです。それぞれのレベルを読み、どの程度かを確かめながら、最後のレベルに挑戦してください。 普通に自分だけで読む時には、大雑把に読み飛ばして大体の内容がわかれますますが、試験では正確に理解できているかどうかが問われますので、テキストの英文については文法的にも内容的にも正確に理解するように心掛けて、さらに文法事項を適切に説明できるように心掛けてください。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 実用的に英語が読めるレベルに達するには、このテキスト以外にたくさんの英文を読むことが必要です。自分にとって比較的安易だと思える英文を、出来るだけ辞書を引かないで読んでみてください。(辞書を引くのに時間がかかるて英語を勉強するのが嫌になることが多いからです。繰り返し出てくる語で、どうしても意味をはっきりさせたい時に初めて辞書で調べましょう。) この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。 この科目的修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー1、4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト『英語読解』			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 外国語に強くなるには、とにかくたくさんやる以外に方法はありません。読めるようになるにはたくさん読むこと、聞き取れるようになるにはたくさん聞くことです。そのためには労を惜しまず、少しの時間でも毎日かけるしかありません。それが努力というものでしょう。			
“There is no royal road to learning”			

科目コード	7701	科目名	英語読解（2024年7月以降に教科書を入手した方対象）
■ 授業概要・方法等			
※このシラバスは2024年7月以降に教科書を入手した方向けです。 (教科書奥付にある発行日が「令和6年10月1日発行」以降の教科書をお持ちの方) 発行日が「令和6年10月1日発行」以前の教科書をお持ちの方は 別シラバス「英語読解_2024年6月末までに教科書を入手した方用」をご確認ください。			
テキストは三つのグループに分かれています。第1のグループは、ユニット1から4までです。様式はいわゆる総合英語の様式で、異文化理解がテーマです。第2のグループは、ユニット5から12まで、いわゆる教養英語の様式で、異文化理解がテーマです。第3のグループは、ユニット13から20までで、教養英語の様式で国際問題がテーマです。第2、3グループは比較的難しい英語で書かれていますが、文法中心の注釈がついているので、注釈を参照しながら学習してください。レポートは、2000字レベルの記述問題で、終末試験は内容把握、文法説明、読解（日本語訳）問題で構成されます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
大学生、社会人としての英語読解力を身につけることが目標です。テキストの注釈を頼りに精読することが求められます。辞書、文法書を用意して読み進めることができます。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー4の達成に関与しています。 この科目的修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー1、4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『英語読解』			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
外国語に強くなるには、とにかくたくさんやる以外に方法はありません。読めるようになるにはたくさん読むこと、聞き取れるようになるにはたくさん聞くことです。そのためには労を惜しまず、少しの時間でも毎日かけるしかありません。それが努力というものでしょう。			
“There is no royal road to learning”			

第一類選択必修科目 (法学部)

(法学部・短期大学部共通)
総合科目

(法学部・短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書
甲群

図書館司書
乙群

学校図書館司書教諭

科目コード	2002	科目名	民法総則①
■ 授業概要・方法等 民法第1編（1条～169条）の民法総則と呼ばれる分野を学習します。六法を手元に置いて、概説書や判例集を読み進めるという地道な作業が必要になります。そのうえで、レポートを提出し、科目終末試験に合格すれば単位が認定されます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 1. 総則中に登場する基本概念を理解すること 2. 総則に規定されている諸制度の要件・効果を把握すること この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 [ISBN] 9784589043702『民法総則ベーシックス：CASE&Qから学ぶ』(石上敬子, 法律文化社 : 2024)			
■ 参考文献 教科書に記載されている参考文献の最新版を参照してください。			
■ 関連科目 私法入門Ⅰ（財産法）、物権法、債権法総論、債権法各論			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 最新の六法を参照しながら教科書等を読み、意義・要件・効果に留意してノートを作成すること。 判例・学説が対立している問題については、まず判例の考え方を十分に理解したうえで、学説との違いを明らかにすること。			

科目コード	2004	科目名	憲法
■ 授業概要・方法等			
憲法とは、明治維新前後に我が国にもたらされた Constitution の訳語として明治 10 年代半ば以降定着することになる言葉で、その本来の意味は、「国のしくみ」である。この授業は、そうした国のしくみを理解するためのものである。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
授業概要にあるとおり、国のしくみとしての憲法を理解することを第一の目標にする。 本来西洋諸国で成立した概念であることから、西洋近代の歴史を踏まえた上で、わが国の憲法（日本国憲法はその重要な部分）の全体像を把握すること。日々の憲法関連報道に対する各自の判断基準を確立すること。こうしたことを通じて、法的思考力の涵養を到達目標とする。 この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与している。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却する。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『憲法』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784004314707 『憲法への招待新版（岩波新書）』（渋谷秀樹、岩波書店） [ISBN] 9784472404290 『日本国憲法入門』（小林幸夫・吉田直正 編著、玉川大学出版部） [ISBN] 9784000616072 『憲法第八版』（高橋和之 補訂、芦部信喜、岩波書店） [ISBN] 9784797250435 『憲法史の面白さ：対談集（日本憲法史叢書 2）』（大石眞、信山社） [ISBN] 9784792305826 『基本判例憲法 25 講 [第 4 版]』（初宿正典、成文堂）			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
教科書をよく読み、基本的な知識を整理し理解することは必要最少限のことであるが、それ以外に、日々報じられる憲法関連のニュースに興味を持ち、何が問題なのかを考えることが必要である。そうするとおのずから様々な情報や資料を参照することに繋がり、また今日では、ネットを通じて容易にそれが可能になっている。			

(法学部 短期大学部共通)
総合科目

(法学部 短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書 甲群

図書館司書 乙群

学校図書館司書教諭

専門科目 I

(短期大学部)

科目コード	2101	科目名	マクロ経済学①
■ 授業概要・方法等			
経済理論はマクロ経済学とミクロ経済学に大別できます。この講義では前者のマクロ経済学を扱います。この科目は他の経済学科目の基本となる科目です。マクロ経済学の基本にあるのはケインズ経済学であり、経済全体のGDP、投資、消費などの経済量をもちいて経済を考えていくという特徴があります。この講義では経済学の基礎知識と基礎的な考え方を勉強します。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
基本的なマクロ経済学の知識と考え方を身につけることを目標とし、新聞や経済雑誌に現れる簡単な経済問題を自分で理解出来るようになることを目指します。経済の基礎を正確に身につけていれば、社会へ出た後も必ず役に立ちます。			
この科目的修得は、本学科が定めるディプロマ・ポリシーの①と③の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
授業中課題の答えと説明は課題提出後に行います。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『マクロ経済学』(内上誠 著、近畿大学通信教育部) または『経済原論』(内上・宇野 著、近畿大学通信教育部)			
■ 参考文献			
[ISBN] 4883840972 『基礎コース マクロ経済学 第2版』(岩田規久男 著、新世社:2005)			
■ 関連科目			
ミクロ経済学、日本社会システム論(経済学)、財政学			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
日頃から経済問題に興味を持ち、常に「なぜ」という問題意識を持ってください。またテキストを通して学んだことを現実の経済問題に応用してください。たとえば消費は所得に依存しますが、「本当だろうか」という問題意識を持ち、自分の経験やデータなどで本当かどうかを考えてください。重要なのはそのような習慣をつけることですので、日々この点を意識してください。			
必ず、はじめからスタートしてください。序章の2は飛ばしていただいて結構ですが、本文で分からないところが出てくればここへ戻って調べてください。第1章は1国の現実のGDPの捉え方を勉強します。第2章は基礎を中心に勉強される方は飛ばしていただいて結構です。第3章はマクロ経済学のメイン部分ですので必ず分かるまで勉強してください。その後、貨幣、IS-LM、財政政策、金融政策、国際経済へと進んでください。そこまでがマクロ経済学の基礎となります。			

科目コード	2103	科目名	商学総論①
■ 授業概要・方法等 近畿大学の商学体系の基礎を学びます。商業・流通の基礎概念をもとにして、卸売業・小売業のあり方、流通政策、マーケティング行動を明らかにしてまいります。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 「商」とは取引の連鎖、財の社会的移動に関わる人間行動をいいます。この科目では、具体的に商業・マーケティング・流通の基礎概念を理解すること、特に商業とマーケティングの違い、両者の今日的なあり方、さらには流通政策の果たす役割を理解することを目標にしています。その上で、論述試験の基礎的な解答方法を身につけることも目標とします。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー1、3の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100% 問題や設題の解答には、一定の分量が必要です。「商学総論」には数行の解答で終わる問題や設題はありません。良い答案・リポートは問い合わせに対する的確に答えており、おのずと一定の分量になっています。			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト『商学総論』(谷内正往、近畿大学通信教育部:2023) ※商学総論説明動画(近大通信HPより) https://youtu.be/7GGKId1KoI8			
■ 参考文献 [ISBN] 9784864341905『流通と消費者』(岩永忠康・佐々木保幸・西島博樹、五絃舎:2024) [ISBN] 429541087X『小売ビジネス』(中井彰人、中川朗、クロスメディアパブリッシング:2025) [ISBN] 9784641165069『日本商業史-商業・流通の発展プロセスをとらえる(Y [igrek] 21)』(廣田誠、有斐閣:2017) [ISBN] 9784641165861『日本流通史:小売業の近現代』(満薦勇、有斐閣:2021) [ISBN] 9784818825024『日本の百貨店史』(谷内正往・加藤諭、日本経済評論社:2018) [ISBN] 4492973354『会社四季報業界地図2026』(東洋経済新報社:2025) [ISBN] 4641166137『マーケティングの力:最重要概念・理論枠組み集(単行本)』(恩賀直人、有斐閣:2023) [ISBN] 4495645323『小売マーケティング・ハンドブック(第2版)』(青木均、同文館出版:2024)			
■ 関連科目 商品学、マーケティング論、経営学総論			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 ・終末問題やリポート設題の解答にあたっては、原則、教科書や商学総論スクーリングの内容を元に(基本に)してください。 ※いきなり生成AIで解答を出してコピペするのは避けてください。ご自身で苦労して書いたものをチェックする際にAIを利用するとよいでしょう。 ・商業・マーケティング・流通の専門用語は、専門書によって多少の違いがあります。まず教科書で基礎的な専門用語を確認してから、他の専門書を読んでいきましょう。 ・普段から、新聞、経済雑誌、ニュース等で流通企業の情報をチェックしておきましょう。理論を理解する手助けになるからです。			
■ ホームページ プロフィール https://ouc.daishodai.ac.jp/profile/educational_research/teacher/bizadmin_commerce/post_16.html			

科目コード	2105	科目名	経営学総論
■ 授業概要・方法等			
経営学は「営利企業」の利潤追求のための技術やノウハウを研究する学問ではない。「営利企業」以外にも、「公共事業や公企業」、最近ますます重要性を増してきた「非営利組織」、あるいは日常の個人が生活を営む「家庭」などに共通する個別経済組織が活動する際の「組織の構造」と「組織の行動」を研究する学問である。この組織をどのように研究するかと言えば、その中心はその組織の在り方を経営主体の管理活動を通じて究めることである。組織は個別の経営単位であるので、「経営学」は優れて個別主体が経済単位としての組織を自己の目的に適合させてどのような構造にするのか、これを使ってどのように目標を立ててそれを達成しようとするのか、そのためにどのような行動をとるのかを研究する。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
この「経営学総論」では主として営利目的で経営される企業を対象にして、どのような構造を構築しそれをどのように動かしているのかを学習する。その場合、企業をとりまく経営環境をどのように捉えてそれに適応するのか、そしてどのような目的行動をとるのかに焦点を当てる。 そこで、この科目の体系として次のような内容の講義となる。 1) 経営を支える組織の構造とは何か。その具体的な経営形態はどのようなものか。 2) 経営環境とは何か。経営をとりまく内外の環境にはどのようなものがあるのか。それは今後どのように変化して経営に影響を与えるのか。 3) この環境にどのように適応するのか。 4) 経営はその変化する情勢の中でどのようにして戦略目標を設定しどのようにそれを達成するのか。そのためにどのような組織化と管理活動をするのか。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマ・ポリシー1, 2, 3の達成に関与している。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却する。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『経営学総論』(堀田和宏著、近畿大学通信教育学部:2000)			
■ 参考文献			
『経営管理論』(上野恭裕・馬場大治編、中央経済社:2016) 『経営管理』(塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男、有斐閣:2009) 『よくわかる現代経営 [第7版]』(「よくわかる現代経営」編集委員会編、ミネルヴァ書房:2023)			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
設問とは違う問題への解答はどれほど良くても不合格になるから、すべての設問の準備をすること。 設問ごとに「サブノート」を作り全体として問題の所在を把握しておくこと。 多くを読む必要はない。教材を繰り返し熟読すること。 テキストや参考書はあくまで基礎を学習するものである。本当の理解は2年次の「経営管理論②」のスクーリングをよく聞くことが望ましい。それで学習を積み重ねることができる。			

科目コード	2109	科目名	簿記論①
授業概要・方法等			
簿記とは、さまざまな経営活動を記録・計算・整理していくことです。この授業では、それらの一連の流れや具体的な処理方法を学修していきます。最終的には外部報告書である貸借対照表や損益計算書のしくみ、これらを作成するために必要な決算整理についても扱います。			
学習・教育目標及び到達目標			
受講者は、(1)複式簿記の構造と役割を理解し、(2)様々な取引の記帳処理の方法を習得し、(3)株式会社の簿記についても理解し、(4)試算表や精算表を作成し、(5)決算整理を行い、(6)財務諸表(貸借対照表と損益計算書)を作成できるようになります。 この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマポリシー1の達成に関与しています。			
成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
教科書			
通信授業科目用テキスト『簿記論』			
参考文献			
[ISBN] 978-4502494512 『新版 基本簿記論 〈第5版〉』(関西学院大学会計学研究室, 中央経済社: 2024) [ISBN] 978-4766429473 『入門講義 簿記論』(友岡賛 他, 慶應義塾大学出版会: 2024) [ISBN] 978-4502495816 『簿記原理テキスト』(工藤栄一郎 他, 中央経済社: 2024) [ISBN] 978-4502545719 『現代簿記会計の基礎 〈第2版〉』(郡司健 他, 中央経済社: 2025)			
関連科目			
会計学			
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
序 章 ボキを学ぶ前に (0.5時間)			
第1章 1. 簿記とは (1.0時間) 2. 貸借対照表 (1.0時間) 3. 損益計算書 (1.0時間) 4. 簿記上の取引 (1.0時間) 5. 仕訳のしかた (1.5時間) 6. 仕訳と転記 (1.5時間) 7. 試算表の作成 (2.0時間) 8. 精算表の作成 (2.0時間) 9. 損益計算書と貸借対照表の作成 (1.0時間) 10. いろいろな補助簿 (1.0時間) (章末) 練習問題 (1.0時間)			
第2章 1. 現金に関する取引 (4.0時間) 2. 預金に関する取引 (3.0時間) 3. 有価証券に関する取引 (3.0時間)			
第3章 1. 分記法と3分法 (1.5時間) 2. 商品の仕入れ (1.0時間) 3. 商品の売り上げ (1.0時間) 4. 仕入帳と売上帳 (1.5時間) 5. 商品有高帳 (2.0時間) 6. 掛取引と人名勘定 (1.5時間) (章末) 練習問題 (2.5時間)			
第4章 1. 手形とは (1.0時間) 2. 手形の割引 (1.0時間) 3. 手形の裏書 (1.0時間) 4. 約束手形と為替手形 (1.5時間) 5. 受取手形記入帳と支払手形記入帳 (1.5時間) 6. 電子記録債権と電子記録債務 (0.5時間) (章末) 練習問題 (2.5時間)			
第5章 1. クレジット売掛金 (0.5時間) 2. 受取商品券 (0.5時間) 3. 貸付金と借入金 (1.0時間) 4. 手形貸付金と手形借入金 (0.5時間) 5. 前払金と前受金 (1.0時間) 6. 未収入金と未払金 (1.0時間) 7. 立替金と預り金 (1.0時間) 8. 仮払金と借受金 (1.0時間) (章末) 練習問題 (1.5時間)			
第6章 1. 有形固定資産とは (0.5時間) 2. 有形固定資産の取得 (0.5時間) 3. 定額法による減価償却 (2.0時間) 4. 減価償却の仕訳方法 (1.0時間) 5. 有形固定資産の売却 (1.5時間) 6. 固定資産台帳 (1.0時間) (章末) 練習問題 (1.5時間)			
第7章 1. 決算整理とは (0.5時間) 2. 当座借越への振替 (0.5時間) 3. 貯蔵品への振替 (0.5時間) 4. 売上原価の算定 (2.0時間) 5. 費用・収益の見越しと繰り延べ (1.5時間) 6. 貸倒引当金の設定 (1.5時間) (章末) 練習問題 (2.5時間)			
第8章 1. 棚卸表の作成 (0.5時間) 2. 決算整理後残高試算表 (1.5時間) 3. 帳簿の締め切り (1.0時間) 4. 決算振替仕訳 (0.5時間) (章末) 練習問題 (1.5時間)			
第9章 1. 株式会社の設立と増資 (2.0時間) 2. 資本剰余金と利益剰余金 (1.5時間) 3. 剰余金の配当 (1.5時間) 4. 税金の関する仕訳 (1.5時間) (章末) 練習問題 (2.0時間)			
第10章 1. 精算表の作成 (1.0時間) 2. 財務諸表の作成 (1.5時間) (章末) 練習問題 (1.5時間)			
第11章 1. 証憑の種類 (1.0時間) 2. 伝票会計とは (1.5時間) 3. 仕訳日計表の作成 (1.5時間) 4. 5伝票制 (1.5時間) 5. 3伝票制の一部現金取引 (1.5時間) 6. 誤謬訂正 (1.0時間) (章末) 練習問題 (1.5時間)			
テキストに出てくる例題をよく読んで、自分でもノートなどに書き出してみます。新しい用語が出てきたら、それらを教科書以外の参考文献でも調べてみます。テキストの各章末には練習問題があるので必ずチャレンジしてください。正解・不正解にかかわらず解説を確認し、理解を深めておきましょう。			

科目コード	2111	科目名	商法（商事関係法）
■ 授業概要・方法等			
*メッセージ			
まず、テキスト全体を読み、全体像をとらえてください。個々の課題は、その後にあたってください。			
つぎに、文章の表現は、自分の考えで、作成してください。			
テキストや参考文献の丸暗記や丸写しはしないでください。			
さらに、文章構成にあたり、どこにポイントをおくかを注意してください。ていねいに、人に読んでもらうという気持を忘れないで作成してください。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
この科目は、商事に関する法律のなかで、商法（商法総則・商行為・海商）、会社法、保険法、手形法・小切手法を学習対象としています（実質的意義の商法＝商事関係法）。これらの法律は、企業の生活関係・経済活動と利害関係者の調整を規律する法律です。			
この科目では、企業活動にあたっての利害対立・衝突をどのように解決するのか、また、それを予防するにはどうすればよいのかという問題を法的に学習します。			
この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマ・ポリシー1, 2, 3の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『商法（商事関係法）改訂版』			
■ 参考文献			
商法（商事関係法）関係の図書は多数ありますので、自分自身で一番理解しやすいものを入門書として参考してください。			
研究所的なもの、その他適当な良書については、テキスト『商法（商事関係法）（改訂版）』のなかに、主要参考文献として掲載されていますので、それを参考にしてください。ただし、出版年度・版の新しいものを推薦します。			
■ 関連科目			
商法、会社法、保険法、海商法、手形・小切手法、有価証券法			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
課題の中には、必ず求められているポイント（論点）があります。それを答案作成にあたり指摘してください。商法、会社法、保険法、手形法・小切手法全体を学習しますので、広範囲の知識を修得しなければなりません。そのため個々の課題を学習する前に、全体を学習し、各法が企業・利害関係者にどのように作用しているのかを理解することが必要です。充分理解するまで、テキストを繰り返し熟読してください。			
法律用語は、法律辞典・法律用語辞典で調べてください。それでも理解できない場合は、国語辞典で調べてください。			
参考文献は、出版年度の新しいものを推薦しますが、会社法、保険法は、商法から独立し、単行法になっていますので注意してください。			

科目コード	3102	科目名	民法①
■ 授業概要・方法等 民法第1編（1条～169条）の民法総則と呼ばれる分野を学習します。六法を手元に置いて、概説書や判例集を読み進めるという地道な作業が必要になります。そのうえで、レポートを提出し、科目終末試験に合格すれば単位が認定されます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 1. 総則中に登場する基本概念を理解すること 2. 総則に規定されている諸制度の要件・効果を把握すること この科目的修得は、通信教育法学部法律学科の定めるディプロマポリシー3の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 [ISBN] 9784589043702『民法総則ベーシックス：CASE&Qから学ぶ』(石上敬子, 法律文化社 : 2024)			
■ 参考文献 教科書に記載されている参考文献の最新版を参照してください。			
■ 関連科目 私法入門Ⅰ（財産法）、物権法、債権法総論、債権法各論			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 最新の六法を参照しながら教科書等を読み、意義・要件・効果に留意してノートを作成すること。 判例・学説が対立している問題については、まず判例の考え方を十分に理解したうえで、学説との違いを明らかにすること。			

科目コード	3501	科目名	商品学①
■ 授業概要・方法等 我々が生活を送る上で必要な「商品」に注目し、様々な知識を習得していく。また商品学という学問についての理解も深めていく。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 ①商品学の歴史や現状を理解する。 ②商品の定義、商品の分類方法を知る。 ③品質の定義、品質の重要性を理解する。 ④企業と商品の関係について理解を深める。 ⑤消費者問題について知る。			
この科目的修得は、短期大学部通信教育部商経科の定めるディプロマ・ポリシー1の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト『商品学』			
■ 参考文献 [ISBN] 9784561651888『現代商品論 第2版』(見目洋子・大原悟務 編, 白桃書房:2010)			
■ 関連科目 商学総論①、商学総論②、商品学②			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 テキスト、参考文献を通読しておいて下さい。 ①商品学を対象とする商品 ②商品分類の必要性 ③品質の定義とその重要性 ④商品学の歴史 ⑤商品学の現状 ⑥企業と商品 ⑦消費者と商品 ⑧社会と商品			

(法学部 短期大学部共通)
総合科目

(法学部 短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書
甲群

図書館司書
乙群

学校図書館司書教諭

図書館司書科目

甲群

科目コード	5701	科目名	生涯学習概論
■ 授業概要・方法等			
図書館司書課程科目において、図書館が生涯学習施設の拠点ということから「生涯学習概論」は大切な科目の一つである。したがって、図書館司書課程科目を学ぶには、まず生涯学習とは何かを知るべきである。本科目ではまず生涯学習の意義、生涯学習振興行政、生涯学習関連施策の動向、生涯学習支援、社会教育の意義、社会教育の内容・方法・形態、社会教育指導者、施設の概要等を学ぶ。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
<ul style="list-style-type: none">生涯学習に関する基本的な知識・概念を理解し、説明することができる。生涯学習振興行政、生涯学習関連施策の動向について説明することができる。社会教育の意義、社会教育の内容・方法・形態、社会教育指導者、社会教育施設の概要などを、説明することができる。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては記述内容に講評を行い、返却する。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『生涯学習概論』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784313611474 『生涯学習概論 第3次改訂版』(佐藤晴雄, 学陽書房: 2023)			
[ISBN] 9784324104644 『二訂 生涯学習概論』(馬場祐次郎(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター), ぎょうせい: 2018)			
[ISBN] 9784871686136 『生涯学習概論改訂版』(小林繁・平川景子・片岡了, エイデル研究所: 2018)			
[ISBN] 9784623070411 『生涯学習概論: 知識基盤社会で学ぶ・学びを支える(講座・図書館情報学 1)』(渡邊洋子, ミネルヴァ書房: 2014)			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
<ol style="list-style-type: none">生涯学習社会の創造へ向けて(生涯学習社会の概念等)生涯学習振興行政の変遷生涯学習振興行政と社会教育行政生涯学習の学習課題・学習者生涯学習の方法、生涯学習の支援方法生涯学習社会と学校・地域・家族生涯学習支援における図書館の役割生涯学習支援における博物館の役割生涯学習支援における青少年教育施設の役割			
生涯学習の科目の範囲は、人文・自然・社会科学のすべてにわたる人間社会の分野に関わる学問であり、図書館利用者の要求もまた同じである。したがって、図書館利用者の要求に応じることができるため、これらの分野のテキストや参考文献等を極力読破しておくことが大切である。			

科目コード	5702	科目名	図書館概論
■ 授業概要・方法等			
私達の身近にある公共図書館について、どれだけ知っていますか？あなたの住む場所にいつから、そしていくつ図書館がありますか？			
図書館とはなにか、図書館の意義、図書館の定義、社会と図書館について考えてみましょう。そして図書館が果たして来た役割とこれからの図書館像も考察しましょう。また、蔵書数がどのくらいで、それを何人の職員で運用してるでしょうか？そのような現場の現在も、学んでみましょう。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
この科目は、図書館全般についての入門です。図書館について総合的に概観しながら、私達の身近に存在する公共図書館の活動やサービスがどのように展開されているかを学んで下さい。レポートを通して実際の図書館業務を調査し、観察し、体験してください。テキストだけでは知り得ない実際の図書館を学んでくれることを期待しています。テキストでは図書館行政や図書館法の現況、図書館の類縁機関や図書館協力ネットワークなど、図書館を取り巻く社会との関わりを勉強して下さい。			
この科目的修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー1、3の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『図書館概論』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784820424116 『日本の図書館：統計と名簿2024』（日本図書館協会図書館調査事業委員会日本図書館調査委員会 編、日本図書館協会：2025）			
[ISBN] 9784820410003 『図書館の歩む道：ランガナタン博士の五法則に学ぶ』（ランガナタン 著、竹内憲 解説、日本図書館協会：2010）			
[ISBN] 9784585300144 『図書館員をめざす人へ（ライブラリーぶっくす）』増補改訂版（後藤敏行 著、勉誠出版：2024）			
[ISBN] 9784480067562 『つながる図書館：コミュニティの核をめざす試み（ちくま新書、1051）』（猪谷千香 著、筑摩書房：2014）			
[ISBN] 9784902666403 『図書館のしごと：よりよい利用をサポートするために（第2版）』（国際交流基金関西国際センター 編著、読書工房：2021）			
[ISBN] 9784585200444 『知って得する図書館の楽しみかた（ライブラリーぶっくす）』（吉井潤 著、勉誠出版：2016）			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
テキストは図書館について基本的な内容を記述しています。レポートは、図書館のサービスや図書館活動などを、実際の図書館を訪問して調査する内容を設定しています。テキストで学んだことを図書館の現場でできるだけ深めて下さい。			
図書館に関するWeb やテレビのニュース、新聞、雑誌記事などに日ごろから注目して下さい。様々な分野で図書館について触れていることに気がつくと思います。また公共図書館に所蔵されている図書館の専門雑誌『図書館雑誌』、『みんなの図書館』なども読んでください。			

科目コード	5703	科目名	図書館情報技術論
<p>■ 授業概要・方法等</p> <p>*メッセージ</p> <p>現代は図書館のあり方が大きく変化しつつある時代です。基盤となるIT技術などの革新を積極的に取りこみ、自らが進化の主導権を担える分野といえます。学習期間を通じて、現実の図書館を利用し、そこに自分の将来をイメージし楽しく自らが考え、新しいアイディアを発想することに挑戦してください。</p>			
<p>■ 学習・教育目標及び到達目標</p> <p>現代社会において、情報技術（IT）と我々の生活とはきっても切れない関係にあります。図書館業務においても、OPAC（蔵書検索システム）・貸出返却業務の自動化・自動書庫など多くの業務が情報技術に支えられています。従って、図書館司書にとって情報技術の習得は必須となります。</p> <p>具体的には、コンピュータとインターネット、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料とデジタルアーカイブ、コンピュータシステム等についての基礎を理解し、修得することを目標とします。</p>			
<p>■ 成績評価方法及び基準</p> <p>レポートと科目終末試験の合格 100%</p>			
<p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法</p> <p>レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。</p>			
<p>■ 教科書</p> <p>『3訂 図書館と情報技術：検索技術者検定3級 対応』(田窪直規, 樹村房：2023)</p>			
<p>■ 参考文献</p> <p>[ISBN] 9784622086505 『情報リテラシーのための図書館——日本の教育制度と図書館の改革』(根本彰, みすず書房：2017)</p> <p>[ISBN] 9784623093908 『図書館情報技術論 [第2版]：図書館を駆動する情報装置 (講座・図書館情報学4)』(山本順一, ミネルヴァ書房：2022)</p>			
<p>■ 関連科目</p> <p>他の司書課程科目や司書教諭科目</p>			
<p>■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間</p> <p>学習にあたってはテキストを繰り返し読み、情報技術の基本と図書館業務との関わりについて充分理解してください。特に情報技術の基本となるコンピュータやパソコンを出来る限り実際に利用して理解を深めて下さい。情報技術と図書館との関わりについては図書館に出向いて、OPAC端末を実際に操作して体験してみたり、貸出や返却業務が機械化されているかなど注意深く観察してテキスト内容を確認することも重要です。現代は図書館で活用される情報源や情報ツール、インターネットサイトは、多岐に渡り、それらを効果的に利用する必要があります。決まった手順はなく都度臨機応変に扱えるよう経験をして下さい。</p>			

科目コード	5704	科目名	図書館制度・経営論
■ 授業概要・方法等			
図書館制度では、図書館及び図書館周辺の法規を学び、うち図書館法逐条解説では、特に図書館法の改正点、旧と新法の違いや問題点になった部分等を学ぶ。			
図書館経営においては、経営理念、目的、目標、計画の流れの重要性を学び、組織化のあり方、部門化の問題点、広がる雇用形態の多様化、司書の専門職性の問題点などを学ぶ。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
1. 図書館制度では、憲法・地方教育行政法を含め、図書館に関連する法体系と図書館法の詳細、指定管理制度に伴う法的問題、関係団体の政策等を学習し、図書館を取り巻く制度を理解してもらう。 2. 経営論では、経営理念の重要性を、理念→目的→目標→計画、の流れから理解してもらうとともに、理念のあり方が図書館経営を左右することを理解してもらう。また、図書館経営には大事な4つの基本思考（利用者中心思考、建設的発展思考、中道思考、未来思考）があり、それについての大切さを理解してもらうとともに、特に利用者中心思考が重要であることを知ってもらう。 3. 組織のあり方では、組織の考え方、組織の種類を学び、図書館組織のあり方を理解してもらう。また、内部業務の制度化では、諸規定・マニュアルの整備の必要性、権限・責任の明確化、部門組織化における諸問題を通して、図書館業務を深く理解してもらう。 4. 施設・設備・情報源の構築では、物的資源・情報源の整備、外部組織との連携を中心に、ハード面の整備の重要性を理解してもらう。 5. 人的資源のあり方では、専門職問題、多様な雇用管理問題、研修制度を通して、人的資源の構築・保全はどうあるべきかを理解してもらう。 6. 図書館計画と目標・評価では、基本計画の策定・計画表の作成法、目標化・評価のあり方について理解してもらう。 7. 予算編成では、主要な館種別図書館における、予算編成の基本的なスタイルを理解してもらう。 司書としての資質に配慮したい。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートおよび科目終末試験の合格100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『図書館制度・経営論』改訂版			
■ 参考文献			
[ISBN] 4-621-07085-1 『図書館の評価を高める』 (PeterHeron, JohnR.Whitman 著, 永田治樹 訳, 丸善 : 2002) [ISBN] 978-4-8204-2100-9 『図書館と法 (改訂増補版)』 (鎌水三千男 著, 日本国書館協会 : 2021) [ISBN] 4-8204-8105-3 『図書館学の五法則』 (ランガナタン 著, 森耕一 監訳, 日本国書館協会 : 1981) [ISBN] 4-8204-9201-2 『大学図書館の管理と運営』 (岩猿・大城・浅野 著, 日本国書館協会 : 1992)			
■ 関連科目			
無し			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
①図書館と法制度、②図書館法解説、③地方自治制度と図書館政策、④図書館経営と理念・目的、⑤図書館経営の基本思考【利用者中心思考（奉仕する価値・顧客志向）、建設的発展思考・中道思考・未来思考】、⑥組織構築と図書館の組織の種類、⑦内部業務の制度化【諸規定の整備・スタッフマニュアル】、⑧図書館組織における権限と責任・図書館協議会、⑨部門組織化と各部門における諸問題、⑩施設・設備・情報源の充実、⑪企業との連携と流通事情、⑫人的資源の整備・養成・多様な雇用管理、⑬研修制度の種類と重要な研修、⑭図書館計画の策定と計画表の作り方・目標・評価のあり方、⑮予算編成テキスト学習のみならず、複数の参考文献（図書・雑誌記事等）を活用し、学びを深めておくこと。			

科目コード	5705	科目名	図書館サービス概論
<p>■ 授業概要・方法等 図書館サービスの概要を理解してもらう。基本的サービスや対象別サービスの個々のサービスの概要と役割、その意義について理解してもらう。</p> <p>■ 学習・教育目標及び到達目標 図書館にはどのようなサービスがあるのか理解する。そしてそれらが何のためになされているか、役割を理解する。 各サービスを理解して実践に向けて訓練できる</p> <p>■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%</p> <p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。</p> <p>■ 教科書 通信授業科目用テキスト 「図書館サービス概論」</p> <p>■ 参考文献 [ISBN] 9784820416098 『図書館ハンドブック』(日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会編, 日本国書館協会)</p> <p>■ 関連科目 図書館サービス特論</p> <p>■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 テキスト等をご参照ください。 実際の図書館サービスが行われている現場をできるだけ多く訪問して観察してほしい。 そして、疑問に思ったことがあれば、きちんと尋ねてほしい。</p>			

科目コード	5706	科目名	情報サービス論
■ 授業概要・方法等			
情報社会と図書館における情報サービスの意義、情報サービスの種類、レファレンスサービスの理論と歩み、レファレンス質問と処理プロセス、レファレンス業務内容と組織、統計と評価、図書館サービスと相互協力、図書館利用教育の展開、各種情報源の組織化と諸科学の文献特性、各種レファレンツールの特性の解説と利用法、等について学ぶ。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
図書館における情報サービスの必要性とサービスの種類、レファレンスサービスの具体的な業務内容と実際の質問処理法、図書館利用教育と必要性とその展開法、諸科学の文献特性、個々のレファレンツールの特性と利用法を修得してもらい、実践的な知識を身に付けてもらう。 できる限り新しい情報の提供に努めたい。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『情報サービス論』			
■ 参考文献			
[ISBN] 978-4-8204-0925-0 『情報リテラシー教育の実践－すべての図書館で利用教育を－』(日本図書館協会図書館利用教育委員会 編, 日本図書館協会:2010) 1,890円(税別)			
[ISBN] 4-8204-0115-7 『図書館利用教育ガイドライン(合冊版)』(日本図書館協会図書館利用教育委員会 編, 日本図書館協会:2001) 1,575円(税別)			
[ISBN] 978-4-622-08650-5 『情報リテラシーのための図書館』(根本彰 著, みすず書房:2017)			
[ISBN] 978-4-86140-590-7 『文献調査法 調査・レポート・論文作成必携(情報リテラシー読本) 第11版』(毛利和弘 著, DBジャパン:2025)			
[ISBN] 978-4-86140-364-4 『サクサク書ける! 良いレポート・卒論~プロの情報リサーチ術「文献調査法から入手法まで」~』(毛利和弘 著, DBジャパン:2023) 1,200円(税別)			
■ 関連科目			
無し			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
①図書館における情報サービスの意義、②情報サービスの種類(レファレンスサービス・広報・情報発信)、③レファレンスの理論・発展史、④情報サービスの実際(利用者行動と質問処理プロセス、情報サービスの実際 質問形態と種類・事例の活用)、⑤レファレンス業務の組織的展開(直接業務と間接業務)、⑥レファレンス業務の組織化、⑦統計と評価(調査と統計・調査の方法・統計の利用)、⑧図書館サービスと相互協力、⑨図書館利用教育とその展開、⑩各種情報源の特質と利用法、⑪本の調べ方、⑫参考図書・官公庁・翻訳・全集・主題文献の調べ方、⑬雑誌・新聞記事の調べ方、⑭雑誌・新聞の調べ方、⑮所蔵館の調べ方・人物情報からの文献の調べ方等テキストのみならず他の参考文献(図書・雑誌記事等)を活用し学びを深めておくこと。特に、最後の章のレファレンツールは、時間の流れで変化していくものがあるので、最新情報及びさらに詳しく学習する場合は、参考文献、毛利和弘 著『文献調査法:調査・レポート・論文作成必携(情報リテラシー読本)』(11版)にて学習すること。			

科目コード	5707	科目名	児童サービス論
授業概要・方法等			
児童サービス論では子どもと本をつなぐ様々な活動や図書館員の役割などを学ぶ。図書館における児童サービスでは様々な取り組みを通して子どもの頃に読書習慣を身につけること、将来的に読書を楽しみ、教養をつけていく力を養うことなどを目指していく。子ども向けのさまざまな資料の構成や子どもと本を結ぶための方法や技術などを理解する。年齢に対応した様々なサービスの展開と学校や地域等との連携についても学ぶ必要がある。			
図書館における様々な児童サービスを知り、子どもと本をつなぐ意義やその方法を理解する。			
学習・教育目標及び到達目標			
図書館で行われているさまざまな児童サービスの内容やその方法を理解し、子どもの読書へ与える影響や図書館員に求められることについて理解を深めること。また図書館で子ども向けに開催する行事・イベントの意義や方法（プロセス）を理解し、効果的な活動を行っていける力を養うこと。			
その為にはテキスト等による学習だけではなく、他の関連ある文献等にも積極的に挑戦し、日頃から図書館を利用して児童へのサービスを注意して観察し、またイベントへ参加するなどして体験的にも学習を重ねられるよう努力をしていくことが望ましい。子どもを知り、子どもの本を知り、子どもと本を結びつける技術を修得すること。			
この科目的修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー3の達成に関与しています。			
成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては記述内容に講評を行い、返却する。			
教科書			
通信授業科目用テキスト『児童サービス論』			
参考文献			
[ISBN] 9784820419099 『児童サービス論 新訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズIII 6)』(堀川照代 編著, 日本国書館協会 : 2020)			
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
テキストなどを参考に理論的に児童サービス論についての知識を深めるだけでなく、計画的に図書館での児童サービスを見学し、その活動内容を確認するなどして実践的に科目に対する理解を深めること。特に子ども向けのイベントや広報の仕方、絵本などの資料については気を配り、どのような資料を揃えているのか、どのような広報活動を行っているのかなどを学ぶことで、より児童サービスを深く理解する視点から、一般的な知識と実際的な内容を理解して説明できることが求められる。			
テキストを参考として、他の文献等も活用し、各項目の事項を理解する。各課題の要点を掴み、まとめ、説明できるように学習すること。また身近な公共図書館などのイベントを利用して子どもへの働きかけや児童サービスへの取り組みなどをよく観察し、その効果や役割、課題などを考察することで児童サービスへの理解を深める努力が求められる。			

科目コード	5709	科目名	図書館情報資源概論
<p>■ 授業概要・方法等 印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、図書館で扱う多様な資料の類型や特質、その生産流通と図書館における保存や管理、蔵書構成に必要な知識を理解し、図書館情報資源の基礎的な知識・能力を養う。</p>			
<p>■ 学習・教育目標及び到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 図書館情報資源の定義について、説明することができる。 2) 図書館情報資源の類型や各資料群の特性について、説明することができる。 3) 図書館情報資源の収集、選択について説明することができる。 4) 日本の出版流通の問題や課題について、説明することができる。 			
<p>■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%</p>			
<p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。</p>			
<p>■ 教科書 通信授業科目用テキスト『図書館情報資源概論』</p>			
<p>■ 参考文献 ※近畿大学通信教育部テキストの各章ごとに参考文献を記載しています。 [ISBN] 9784883673384 『改訂図書館情報資源概論（現代図書館情報学シリーズ8）』（岸田和明 編著、小山憲司ほか著、樹村房） [ISBN] 9784816925894 『デジタル環境と図書館の未来（図書館サポートフォーラムシリーズ）』（細野公男、長塚隆 共著、日外アソシエーツ）</p>			
<p>■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 まずはテキストを熟読し、図書館全体の機能や理論を理解した上で、図書や雑誌、新聞、電子資料、ネットワーク情報資源といったさまざまな情報資源がどのように収集・提供されているのかに着目し、各資料の特徴を押えてほしい。テキストで理解できない部分は、参考文献を活用して正しく理解すること。</p>			

科目コード	5710	科目名	情報資源組織論
■ 授業概要・方法等			
情報資源組織（化）とは、「利用者が求める情報資源（資料）を容易に探せるよう情報資源環境を整備すること」です。閲覧や貸出サービスなど利用者と直接対面して行うのが「直接サービス」であるのに対し、ここでは「間接サービス」を取り扱うことになります。			
本科目では、情報資源組織化の理論と技術（手法）について学びます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
受講者は、この科目を履修することによって、 1) 情報資源組織化の意義と目的の理解、 2) 図書や雑誌、ネットワーク情報資源といった様々な情報資源に対する組織化の手法についての知識の習得、 3) 情報資源の組織化に使われる基本的なツール（『日本目録規則』や『日本十進分類法』など）の概要の理解、が可能になります。 司書としてスタート・ラインに立ち、その後活躍するための知識・技術を身につけるとともに、情報社会で活躍するための知識・技術を身につけるための科目です。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『情報資源組織論』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784762028892 『情報資源組織論第2版（ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望）』（榎本裕希子、学文社：2019）			
[ISBN] 9784762030123 『情報資源組織論及び演習第3版（ライブラリー図書館情報学）』（那須雅熙、学文社：2020）			
[ISBN] 9784820419150 『情報資源組織論3訂版（JLA図書館情報学テキストシリーズ3-9）』（柴田正美、日本図書館協会：2020）			
[ISBN] 9784474069541 『分類・目録法入門：メディアの構成新改訂第6版』（志保田務、第一法規：2020）			
[ISBN] 9784486021889 『情報資源組織論』（竹之内禎、東海大学：2020）			
[ISBN] 9784621305348 『図書館情報学用語辞典第5版』（日本図書館情報学会用語辞典編集委員会、丸善出版：2020）			
[ISBN] 9784820413110 『図書館用語集4訂版』（日本図書館協会用語委員会、日本図書館協会：2013）			
■ 関連科目			
5711情報資源組織演習			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
学習する際に心がけてほしいことは、以下のとおりです。 1) テキストを繰り返し読み、まず情報資源組織化の意義と目的、間接サービスの意味について理解する。 2) 次段階として、利用者に情報資源を効果的かつ効率的に利用してもらうための技術（手法）や、そのための基本的なツールに取り掛かる。 3) テキストで紹介されているウェブページへ積極的にアクセスし、利用する。 4) 実際に図書館に出向き、目録（OPACやカード目録など）を利用して得られる情報資源についてどのような情報が記録されているのか、また、情報資源がどのように分類・配架（特にNDCを採用した事例）されているのか、よく観察すること。 ※テキストを読み進めるうちに、わからない用語や理解できない事柄があれば、参考文献を活用して正しく理解するようにしてください。 ※レポート作成のための現地調査では、自身が利用者の立場から館内を歩き回り、いろんな気づきや発見に出会う機会を持つことに重きを置いてください。			

図書館司書科目

乙群

(法学部 短期大学部共通)
総合科目

(法学部 短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書 甲群

図書館司書 乙群

学校図書館司書教諭

科目コード	5801	科目名	図書・図書館史
■ 授業概要・方法等 記録媒体の変遷や、日本と外国の図書館の興亡を古代から現代まで概観し、「図書館が存在」することの文化史的意義について理解する。歴史は「今」につながる。今日の図書館の基盤形成に至る経緯を再確認し、未来的な設計図を作成する手がかりとする。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、図書を中心とする記録メディアの歴史と、その保管装置である図書館の歴史を理解することを目標とする。図書館は古来より延々と人類が生んだ記録物を集積・保存し、利用につなげ、次の時代へと継承し、もって未来の思想をつくる役目を果たしてきた。しかし、その道のりは平坦ではない。興亡の繰り返しがあった。今日あるさまざまな問題も、かつて図書館が遭遇した課題と無縁ではない。歴史を学ぶ点はここにある。古代から現代までの図書と図書館の歴史を学ぶことによって、今日の図書館への理解をさらに深める。学びを通して今の誰でも無料で使える図書館のスタイルは、最近完成されたものということを知って欲しい。この科目的修得は、本学科の定めるディプロマ・ポリシー1、3の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト『図書・図書館史』			
■ 参考文献 [ISBN] 9784883670130 『図書及び図書館史』(寺田光孝 他, 樹村房: 1999) [ISBN] 9784816920233 『日本図書館史概説』(岩猿敏生, 日外アソシエーツ: 2007) [ISBN] 9784883672110 『図書・図書館史』(佃一可 編, 樹村房: 2012) [ISBN] 9784762024368 『図書・図書館史』(綿貫豊昭, 学分社: 2014) [ISBN] 9784762022005 『図書・図書館史』(千錫烈 編著, 学分社: 2014) [ISBN] 9784760148776 『図書館と江戸時代の人びと』(新藤透, 柏書房: 2017) [ISBN] 9784623084722 『図書・図書館史』(三浦太郎 編著, ミネルヴァ書房: 2019) [ISBN] 9784883673247 『情報革命の世界史と図書館』(山口広文, 樹村房: 2019) [ISBN] 9784585200673 『図書館の日本史』(新藤透, 勉誠出版: 2019) [ISBN] 9784490210378 『戦国の図書館』(新藤透, 東京堂出版: 2020) [ISBN] 9784883673643 『古代日本に於ける「図書館」の起源』(新藤透, 樹村房: 2022) [ISBN] 9784480075086 『図書館の日本文化史』(高山正也, 筑摩書房: 2022)			
■ 関連科目 図書館概論			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 1 記録媒体の変遷と生産性 2 日本の図書館史（古代、中世（鎌倉・室町時代）、近世（江戸時代）、近代（明治・大正・昭和前期）、現代の図書館） 3 世界の図書館史（古代、中世、近世、近代、現代）			
テキストは図書・図書館史の骨格に絞って述べています。歴史の細部にわたっては各種の参考文献を参照して、多角度から理解を付けしてください。また、私たちの身近な図書館や歴史的に由緒のある図書館、関係ある寺院や印刷や本に関わる博物館の見学などは、この科目的理解を更に深めるので、お勧めします。			

科目コード	5802	科目名	図書館実習
■ 授業概要・方法等			
公共図書館で下記の実習実施内容に基づきおこないます。			
実習事項の例示			
A 実践を通しての実習			
① 基礎的内容			
a 資料の選定、発注、受入の業務 b 資料の整備と装備 c 閲覧、貸出の実務			
d レファレンス・サービス受付、調査、回答 e 図書館システムの管理			
f 電子情報の管理と利用			
② 各図書館の特色に応じた内容			
a 児童サービス b 統計処理 c 書架作業と蔵書点検 d 複写サービス			
e 図書館相互貸借の事務処理 f 移動図書館(BM)による全域サービス g 図書館広報活動			
h 郷土資料の取り扱い i 逐次刊行物の取り扱い(新聞・雑誌等) j 視聴覚資料の取り扱い			
B 観察による実習			
a 図書館協議会の運営 b 各種委員会の運営 c 職員の研修 d 利用者の実態			
e 図書館協力(図書館相互の協力、他の類縁機関との協力) f 読書会その他の集会行事			
g 職員構成 h 図書館のサービス計画 i 図書館の行財政			
【図書館実習申込みの所要資格】			
図書館実習をおこなうためには、必修甲群のテキスト授業9科目、スクーリング・オンデマンド授業2科目の単位を修得していることが必要です。			
上記所要資格を満たしていない場合は、実習における各項目の理解が不十分になり、成果が期待できませんので図書館実習を許可することはできません。また、申込の時点で修了要件を満たしている場合(24単位が揃っている場合)は手続きできません。			
実習後、図書館実習簿を図書館より送付いただきますが、学籍有効期限の10日前までに実習簿が通信教育部学生センターへ到着する必要があります。			
※図書館実習を履修登録された方には、受講許可時実習実施についての小冊子を同封しますので、詳細については小冊子をご確認ください。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
図書館現場での業務との関係で、講義、演習科目を深く総合的に理解させると共に、司書としての問題意識を構成させる。			
■ 成績評価方法及び基準			
実習図書館からの報告に基づく判定 100%			
実習図書館からの報告(実習簿の返却)に基づき、本学が単位認定をおこないます。成績は、実習月(最終日のかかる月)の月末に処理し、通知書と実習簿を送付することで成績発表とします。			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784820413028 『図書館実習 Q&A』(川原亜希世他、日本図書館協会:2013)			

科目コード	5803	科目名	図書館サービス特論
■ 授業概要・方法等			
公共図書館が近年導入している課題解決支援サービス、非来館型サービス、障がい者サービス、多文化サービス等の取り組みについて、歴史や具体的な事例をもとに考察していく。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
近年、図書館サービスは大きく変わってきており、その中でも特に公共図書館において取り組みが進んでいるサービスに焦点を当て、各図書館が「地域の知の拠点」としての役割を担うため、どのような視点でサービスを開拓しているのか、事例に即して学ぶことにより、図書館サービスの将来展開を考えることを目指している。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却する。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『図書館サービス特論』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784582838169 『これからの図書館』(谷一文子著、平凡社:2019)			
[ISBN] 9784762025822 『図書館サービス概論 第2版』(金沢みどり著、学文社:2016)			
[ISBN] 9784480067562 『つながる図書館』(猪谷千香著、筑摩書房:2014)			
[ISBN] 9784787200471 『これからの図書館 増補版』(大串夏身著、青弓社:2011)			
■ 関連科目			
図書館サービス概論			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
1. 自分の考えや思い込みに縛られるのではなく、まずテキストの内容を十分に理解した上で、インターネットなどを通じて知識を広げること。			
2. その上で公共図書館に実際に向いて、自分の目で観察し、インターネット等で発信されていないサービスについても理解を深め、次にサービスの課題を見つけること。			

科目コード	5804	科目名	図書館情報資源特論
<p>■ 授業概要・方法等 成績評価の基準としては、その問題についての基礎的知識があるか、論文の構成がきちんとなされているか、誤字がないか、さらに自己の言葉で書かれているかなどである。</p>			
<p>■ 学習・教育目標及び到達目標 この科目は、図書館情報資源のうち、近年、注目されつつある地域資料や特殊コレクション、ならびにネットワーク情報資源としてのデジタルアーカイブ等を重点的に取り上げている。 今日は、情報社会が著しく進展し、社会の隅々にまで情報がいきわたる時代となった。私たちの生活には大量の情報が押し寄せ、溺死寸前の状態であるといっても過言ではない。このような現状にあって、国民が情報資料（資源）を的確に判断し、選択することはきわめて困難である。われわれ図書館利用者が図書館情報資源を確実に手に入れるにはどうしたらよいか、これこそ社会が要求している重要な問題である。そのためには、図書館における情報資源の本質と種類を十分に理解しなければならないのである。</p>			
<p>■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%</p>			
<p>■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。</p>			
<p>■ 教科書 通信授業科目用テキスト『図書館情報資源特論』</p>			
<p>■ 関連科目 図書館情報資源概論</p>			
<p>■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 科目終末試験答案の作成にあたっては、 1) 論文の構成に力を注ぐこと。それには出題されている問題が何を求めているかを熟考することである。 2) 使用する文章は「…である」調にする。 3) 文字は丁寧に、きれいに書くことを心がける。 試験を受けるにあたっては、通信授業用テキストを熟読し、要点を要領よく整理しておくことが必要である。</p>			

(法学部 短期大学部共通)
総合科目

(法学部 短期大学部共通)
外国語科目

第一類選択必修科目
(法学部)

(短期大学部共通)
専門科目 I

図書館司書 甲群

図書館司書 乙群

学校図書館司書教諭

学校図書館 司書教諭科目

科目コード	5601	科目名	学校経営と学校図書館
■ 授業概要・方法等			
この科目は、司書教諭の資格に必要な科目の1つで、もっとも入門的な科目です。学校図書館とは何か、なぜ学校の中に図書館が必要なのか、司書教諭は何をするのか、などを学びます。司書教諭の資格の取得を目指す方は、この科目を最初に、または少なくとも他科目と一緒に学ぶことをおすすめします。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
<ul style="list-style-type: none">・児童生徒・同僚・管理職・保護者など、相手に合わせて学校図書館の重要性を説明することができる・学校図書館に関する仕事内容を列挙し、状況に合わせて司書教諭が担当すべき仕事を理由をつけて選ぶことができる・学校経営計画などの「学校の目標」と学校図書館とを関係して説明できる・司書教諭と学校司書の違いを説明し、協力や仕事の分担の方法を提案することができる			
この科目的修得は、短期大学部（通信教育部）の定めるディプロマ・ポリシー3、4の達成に関与しています。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『学校経営と学校図書館』			
■ 参考文献			
公共図書館などで『学校図書館』『図書館雑誌』という雑誌2つを月に1度ぱらぱらめくってください。以下を全て買う必要はありません。いくつかを近くの図書館で手に取ってください。 高校生向けの易しいものも含まれています。 ない場合、「他の図書館から取り寄せてみる」を体験してみるのもいいでしょう。 [ISBN] 9784831514202『司書になるには（なるにはBOOKS）』（森智彦、ペリカン社：2016） [ISBN] 9784907126254『蛾のおっさんと知る衝撃の学校図書館格差』（山本みづほ、郵研社：2019） [ISBN] 9784005007035『みんなでつくろう学校図書館（岩波ジュニア新書）』（成田康子、岩波書店：2012） [ISBN] 9784780306996『学校司書って、こんな仕事』（かもがわ出版：2014） [ISBN] 9784337450462『東出雲発！学校図書館改革の軌跡一身近な図書館から図書館活用教育へ』（原田由紀子、国土社：2012） [ISBN] 9784883673612『改訂 学校経営と学校図書館（司書教諭テキストシリーズII）』（中村百合子、樹村房：2022）			
■ 関連科目			
司書教諭の資格の取得に必要な他の4科目より先に、または同時に履修することを勧めます。			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
まずは、学校図書館は何かから学びはじめます。学校図書館とは小・中・高校・特別支援学校にある、いわゆる図書室のことです。別棟でなくとも学校図書館といいます。また、大学にある図書館は学校図書館ではありません。また、学校図書館は自分の好きな本を借りる場所でもありますが、探究学習（調べ学習）などの場所でもあります。主に児童生徒が利用しますが、教職員も利用します。			
次に、学校図書館や司書教諭は具体的に何をするのかを大まかに学びます。司書教諭は本の貸出や整理をするだけではなく、他の教員と共に学校図書館でどのような授業をするか考え、授業を行い、授業が成功しているか振り返ります。司書教諭はその名通り教員なのです。			
その次は、学校図書館は学校とばらばらであってはいけない、目標に向けた学校全体の動き（学校経営）と学校図書館で行うこと是一致してなければならないことを学びます。			
最後に、現在配置が進む、司書教諭とは別の職種である「学校司書」との協働など、現在の日本の学校図書館が抱える課題の解決方法を考えます。他の科目を学ぶ上で、また司書教諭になった後でも、それぞれが「学校図書館とは何なのか」を学び続けること、考え続けることは必要であり、その基礎となります。			

終末試験を受ける頃には、以下のようなことに答えらるようになってほしいです。

(これらがそのまま問題として出るわけではありません)

- あなたは私立中学高校の専任の司書教諭とします。教育実習生から、「先生のように専任の司書教諭として就職したいのでどうしたらいいか」と聞かれました。どう説明しますか。
- あなたは私立中学高校の専任の司書教諭とします。生徒募集のための学校説明会で、保護者に向けて学校図書館での取り組みを10分間程度説明することになりました。どのようなことを話しますか。
- あなたは中学校で兼任司書教諭をしていましたが、4月より私立中高一貫校に専任の司書教諭として転職いたします。5月に教員に向けて学校図書館についての校内研修をすることになりました。ただし、転職先は、今まで専任司書教諭はおらず、それほど学校図書館での教育が活発に行われてきた学校ではありません。どのような研修を行いますか。
- あなたは中学校の教科担当の先生であり、司書教諭の資格はとりましたが発令されていません。校長先生から「うちの学校は7クラスしかないから、来年度も司書教諭は発令しなくてもいいですね」と言われ、すぐに返答できないでいると、「では来週に少し時間をとりますので、数字なども使って説明してください」と言われました。
- あなたは中学校の教科担当教諭であり、司書教諭でもあるとします。校長先生から「学校経営計画に学校図書館のことを載せたいが、載せるなら数値目標にしないといけない。学校図書館の数値目標を考えてほしい」と依頼されました。載せるか載せないか考え、載せるならどのような案にしますか。
- あなたは小学校の担任の先生で司書教諭でもあるとします。来年度より、週に3日間ではありますが、学校司書が配置されることになりました。新たにどのような取り組みを行いたいですか。
- あなたは小学校の担任の先生で司書教諭でもあるとします。ある日、隣のクラスの担任が、「図書の時間」の授業中、毎週学校司書に任せて職員室に戻って連絡帳を書いていることが分かりました。どうしますか。
- あなたは小学校の先生でしたが、今年度聴覚特別支援学校に転勤し、司書教諭となりました。新たな勤務校は社会や理科などの調べ学習の本が少なく感じます。ただ、学校司書が作成した今年の予算案を見ると、50万円の資料費のうち、小説と絵本で90パーセントになっており、その他は10パーセントしかありません。学校司書と何を話しますか。
- あなたは高校の教科担当教諭であり、司書教諭でもあるとします。ある保護者より、「今まで小学校、中学校と学校図書館でボランティアをしてきたので、この学校では図書館ボランティアはいないけれど、この学校でも続けてボランティアをしたい」と言われました。どう対応しますか。
- あなたは公立の小学校の担任の先生で司書教諭でもあるとします。教育長が学校図書館に来て、「多少本を買うお金が減っても、他校と本を貸し借りできるように配達費をつけたほうがいいか」と聞いてきました。どう答えますか。
- あなたは私立中学高校の専任の司書教諭とします。ある日教員が来て、「教卓の上に学校図書館の本が置いてあった。物を丁寧に扱うように私から指導したいので、誰が借りたのか教えて欲しい」と言われました。どうしますか。
- あなたは高校の教科担当教諭であり、司書教諭でもあるとします。保護者から、「学校図書館は教育のためにあるので、ファッション雑誌を税金で買うのはまずいのではないか」とメールがありました。どう対応しますか。

科目コード	5602	科目名	学校図書館メディアの構成
■ 授業概要・方法等			
学校図書館の機能を十分に発揮するためには、学校図書館メディアが十分に備えられ、検索可能な状況であることが不可欠である。本科目では、世の中に存在するメディアの中から学校図書館にとって必要なものを選択、収集し、これらを有効・適切に利用者（児童生徒・教員）に利用してもらうための手順・方法を学び、司書教諭の具体的な業務について把握する。具体的には、学校図書館におけるメディアの種類とその特性を明らかにし、さらにそのメディアを十分活用するために、目録、分類などのプロセスを学んでいく。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
学校図書館の機能を十分に発揮できるようにするために必要とされる学校図書館メディアの基礎知識を、説明できるようになる。続いて選択・収集、組織化、維持・管理にあたっての基本的な知識を説明することができるようになる。また得た知識を基に、学校図書館現場のスキルを習得し、司書教諭の具体的な業務について把握することで、実務能力の育成も目指す。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『学校図書館メディアの構成』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784595323621 『学校図書館メディアの構成』（米谷優子、香海沙織、放送大学教育振興会：2022） ※なお司書課程を履修している者は、以下の通信授業科目用テキストも参考にして欲しい。 『図書館情報資源概論』『情報資源組織論』			
■ 関連科目			
「学校経営と学校図書館」 また、「学習指導と学校図書館」など、他の学校図書館司書教諭科目を受講していることが望ましい。			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
1. 学校図書館メディア概論（1－4章） 2. 学校図書館メディアの種類（5－12章） 3. 学校図書館メディアの選択・収集（13－16章） 4. 学校図書館メディアの組織化（17－22章） 5. 学校図書館メディアの維持・管理（23－24章） 6. これからの学校図書館メディアの課題（25章）			
テキストの内容を基に、関連書（司書資格テキストも有効）や実際の学校図書館の見学や実務等から詳細を内付けしていく。テキストの内容と以上に挙げた関連学習の比率が、3:1であることが望ましい。			

科目コード	5603	科目名	学習指導と学校図書館
■ 授業概要・方法等			
学校図書館は「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編」（文部科学省）にあるように、「各教科等の様々な授業で活用されることにより、学校における言語活動や探究活動の場となり、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に資する役割が一層期待されて」います。このようなこともふまえつつ、児童生徒の学習活動や教師の教育活動で学校図書館の機能を活用することの意義や、児童生徒の情報活用能力の育成について取り上げます。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
学校図書館の機能や学校図書館のメディアを活用した教育活動・学習活動の意義および情報活用能力の育成について説明できる。 3 専門分野の基本的な知識を修得し、体系的に理解できていること。に該当します			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『学習指導と学校図書館』			
■ 参考文献			
[ISBN] 9784820416135 『学校図書館の教育力を活かす』（塩見昇 著、日本図書館協会：2016） [ISBN] 9784623084456 『探究の過程におけるすぐ実践できる情報活用スキル 55 単元シートを活用した授業づくり』（塩谷京子 著、ミネルヴァ書房：2019） [ISBN] 9784780306996 『学校司書って、こんな仕事 学びと出会いをひろげる学校図書館』（学校図書館問題研究会 編、かもがわ出版：2014）			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
学校図書館は図書館サービスによって児童生徒及び教職員に資料や情報を提供し、児童生徒の学習活動や教師の授業づくりを支援します。また、情報活用能力の育成についても大きな役割を果たします。テキストではまず学校図書館の機能と役割について押えた上で、教育課程と学校図書館について取り上げています。学校図書館を活用した授業の実践例や教師へのインタビューからも授業で学校図書館を活用する意義を学ぶことができるよう工夫しています。また、学校図書館の教科等での利活用や体系的な情報活用能力の育成をおこなう上の司書教諭の役割や学校司書との協働についても解説しています。テキストや参考文献等を活用して学びを深め、考察してください。			

科目コード	5604	科目名	読書と豊かな人間性
■ 授業概要・方法等 現代社会において、子どもたちに「読書」がなぜ必要なのか、また、その読書をすすめるための学校における司書教諭の任務とともに、学外の施設、地域との連携を含めた子どもの読書活動の支援について考察する。			
■ 学習・教育目標及び到達目標 ①子どもを理解する②子どものための資料を十分に知る③子どもと資料を結ぶための技術と、子どもたちが日常的に読書習慣を身につけることを支援する方法を学ぶ。以上のことと目標とする。			
■ 成績評価方法及び基準 レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法 レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書 通信授業科目用テキスト『読書と豊かな人間性』			
■ 関連科目 「学習指導と学校図書館」など、他の学校図書館司書教諭科目を受講していることが望ましい。			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間 この科目は、授業概要にあるように、司書教諭が学校図書館の運営の中で、子どもたちの読書活動を支援するための具体的な方法を学習するが、レポートや科目終末試験については、テキストを理解すれば対応できるようになっている。学習については、以上の留意点を参考にして、この科目を楽しむこと。レポートについても試験についても、何が問われているかを理解したうえで、自分の考えや体験などを加えて自分の言葉で述べて欲しい。自分が司書教諭になった場合のことをイメージして、子どもたちと共に読書を楽しむことを考えてみて欲しい。 「子どもを理解」し、「子どものための資料を十分知る」ためには、自分自身が子どもの本をよく読み、読書の楽しさを知っていなければならない。テキストを参考にして、実際に多くの子どもの資料を手に取り、資料への十分な知識を蓄えること。また、「子どもと資料を結ぶための技術」を習得するためには、テキストで理論的なことを学ぶだけでは足りないので、できるだけ図書館などの現場で体験し、読み聞かせやブックトークなどの研修を受ける機会があれば参加してその技術を身につけること。			

科目コード	5605	科目名	情報メディアの活用
■ 授業概要・方法等			
学校図書館の管理、運営、活動を担う司書教諭として、教育委員会あるいは校内（学内）で発令されるためには、教員免許状の取得に加えて、司書教諭発令に必要とされる5科目のうちの1つが「情報メディアの活用」です。			
学校図書館が収集・活用するメディアについて触れる司書教諭科目の「学校図書館メディア」が、端的に言うと情報資源に位置づけられて、同じく司書教諭科目の「情報メディアの活用」が学校図書館の情報資源を初めとする様々な情報の利用とする関係に当たります。学校図書館メディアを情報メディアとして活用し、それを基盤として学習活動と読書活動が互いに影響を与えつつ展開されることを意識してもらいたいと思います。			
著作権法や、学習指導要領などをはじめとして最新の情報に気を配り、具体的な学校図書館活動を自分なりに描き、情報メディアの活用を考える必要があります。特に、世界的に要求されている人材である「考える力を持つ」能力を育みつつ、実際に学校現場で自分が司書教諭として学校図書館を任せられた場合に、情報メディアをどう活用しなくてはいけないのか真剣に考えることで様々な疑問が生じるはずです。その疑問が具体的な学校図書館蔵を描くためには重要です。常に疑問や問題意識を持って、示される課題を中心に考察をしてもらいたいと思います。			
レポートの評価では、論点が明確な内容であることはもちろんですが、論理的な文章の構成になっているか、自分の考えが自分の言葉で明確に表現できているか、また引用文献、参考文献の表示がなされているかなど、基礎的なレポートの書き方も重要な評価基準となります。試験においては、設題で求められているキーポイントが明確に述べられているかも重要な評価基準となります。			
■ 学習・教育目標及び到達目標			
この科目は学校図書館の視点で情報メディアの活用を勉強していくものです。「学習センター」「メディアセンター」としての機能を要求されるようになった今日の学校図書館においては、必要な情報を収集、選択、利用、発信、評価（批評）していくための情報活用能力はメディアの違いを超えて共通する、情報を活用する基本的な姿勢です。学校図書館における具体的な情報活用能力とは何か、学校図書館で何をどのように指導していくかを深く考え、さらに関連する著作権の問題や「情報メディア利用の「負の要素」についても考えることで、科目としての「情報メディアの活用」の意義を理解していくようにして欲しいと思います。常に最新の情報に目を配り学校図書館の活動はどうあるべきか、学校図書館は児童・生徒とどう関わるべきなのかといった学校図書館の理念も念頭に置きながら、情報メディアを活用することを考えていきたいと思います。			
■ 成績評価方法及び基準			
レポートと科目終末試験の合格 100%			
■ 試験・課題に対するフィードバック方法			
レポートについては、記述内容に講評を行い返却します。			
■ 教科書			
通信授業科目用テキスト『情報メディアの活用』			
■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間			
試験については、テキストを良く読んでおくことが必要となるが、単にテキストを読んで丸写しをしたような解答ではなく、自分の言葉で簡潔にかつ論理的に表現するよう努力すること。また、試験に解答する場合もレポートと同様に、最新情報を勉強してそれを反映させる努力をすること。			
日々進展する情報メディアを理解するためには、テキストだけの学習では足りません。レポート作成に当たり単にテキスト文章を抜き出してまとめるだけでなく、自分なりの考え方を持てるよう学習を進めてください。			